



能力開発 セミナーガイド

2025年度

令和7年

令和8年

4月～3月



企業のレベルアップに、従業員のスキルアップに、
ものづくりの研修をご活用ください



ハロートレーニング
——急がば学べ——

セミナー活用のために
(フロー図)

生産管理系

機械系

電気系

居住系

その他のご案内

受講の申し込み等

受講申込書

能力開発セミナー

能力開発セミナーとは？

在職者の方々を対象とした、ものづくりに関する専門的知識や技能・技術を学ぶ2日間から5日間程度の短期間のセミナーです。

セミナーは、平日の昼間だけではなく、土日にも開催しています。

生産管理系

- 生産管理
- 安全衛生

機 械 系

- 機械設計
- 測定・検査
- 機械加工
- 金属加工/成型加工
- 設計・施工管理

電 気 系

- 機器組立/システム組立
- 生産設備保全
- 制御システム設計

居 住 系

- 建築設計/建築意匠設計
- 建築構造設計
- 建築計画
- 木材加工/建築部材加工

能力開発セミナーのPOINT

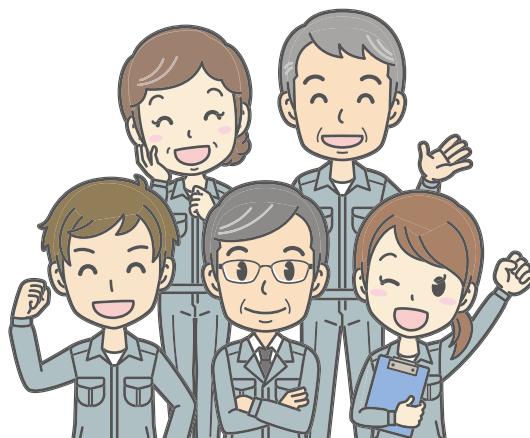
- POINT ①** 専門的な知識・高度な技能・技術の習得
- POINT ②** 従業員・在職者のレベルアップ、リスクリキングに
- POINT ③** “ものづくり分野”中心で体系的
- POINT ④** 実習中心で実践的なセミナー
- POINT ⑤** 受講しやすい日程、料金設定
- POINT ⑥** オーダーメイド型のセミナーも（ご相談ください）
- POINT ⑦** 人材開発支援助成金のご案内

- 在職者訓練・生産性向上支援訓練を従業員に受講させた事業主の方は、人材開発支援助成金を利用して、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等の助成を受けることができます。
- 助成金の利用には一定の条件がありますので、詳しくは各都道府県の労働局にお問い合わせいただくか、厚生労働省ホームページをご確認ください。

三重労働局 人材開発支援助成金 [検索](#)



- 能力開発セミナーコース一覧 P. 3
- 能力開発セミナーの活用のために（推奨フロー） P. 7
- セミナーコース内容 P.15
- 能力開発セミナーオーダーメイド型コースのご案内 P.57
- 事業主推薦制度のご案内 P.58
- 施設設備の貸与・講師派遣のご案内 P.59
- 求職者の職業訓練に関するご案内 P.60
- 訓練受講者及び訓練修了者への求人について P.61
- 企業実習生受け入れのお願いについて P.62
- 生産性向上支援訓練のご案内 P.63
- 能力開発セミナー受講申し込み手続きのご案内 P.65
- 受講申込書 P.66



能力開発セミナーコース一覧

	分類	コース番号	コース名	会場	定員	日数	受講料	ページ
生産管理系	生産管理	6M311	I E手法を活用した現場改善	P三重	10	2	9,000	15
		7M211		P伊勢	10	2	9,000	15
		6M321	製造業に活かす品質管理技法	P三重	10	2	10,500	15
		7M221		P伊勢	10	2	10,500	15
		6M341	New なぜなぜ分析による真の要因追及と現場改善	P三重	24	2	20,500	16
	安全衛生	6M342		P三重	15	2	9,000	16
		6M331	★ヒューマンエラー防止実践手法	P三重	15	2	9,000	16
機械系	機械設計	7M011	New 実践機械製図	P伊勢	10	3	12,500	17
		6M031		P三重	12	2	9,000	18
		6M032	機械製図技術（図形編）	P三重	12	2	7,000	18
		6M033		P三重	10	3	12,000	19
		6M041	機械製図技術（寸法・公差編）	P伊勢	10	3	12,000	19
		6M042		P三重	10	2	8,000	19
		6M043		P伊勢	10	2	8,000	19
		6M011	2次元CADによる機械製図技術（作図・編集編）	P三重	10	2	8,500	20
		6M012		P伊勢	10	2	8,500	20
		6M013		P三重	10	2	8,500	20
		7M031		P伊勢	10	2	8,500	20
		6M021	2次元CADによる機械製図技術（環境設定編）	P三重	10	2	8,500	20
		6M022		P伊勢	10	2	8,500	20
		6M023		P三重	10	2	8,500	20
		7M041		P伊勢	10	2	8,500	20
		6M051	3次元CADを活用したソリッドモデリング技術	P三重	10	2	8,500	20
		6M052		P伊勢	10	2	8,500	20
		7M101		P三重	10	2	8,500	20
		6M061	3次元CADを活用したアセンブリ技術	P伊勢	10	2	8,500	20
		6M062		P三重	10	2	8,500	20
		7M111		P伊勢	10	2	8,500	20
		6M301	New 設計者CAEを活用した構造解析	P三重	10	2	8,000	21
		7M141		P伊勢	10	2	8,000	21
		7M131	New CAM技術	P伊勢	10	3	12,000	21
	測定・検査	6M071		P三重	10	2	10,000	22
		6M072	精密測定技術	P伊勢	10	2	10,000	22
		6M073		P三重	10	2	10,000	22
		7M051		P伊勢	10	2	10,000	22
機械系	機械加工	6M081		P三重	8	2	13,000	23
		6M082	旋盤加工技術（外径加工編）	P伊勢	8	2	13,500	23
		6M083		P三重	8	2	10,000	23
		6M084		P伊勢	8	2	13,500	23
		7M061		P三重	8	2	13,500	23
		6M091	旋盤加工技術（内径加工編）	P伊勢	8	2	13,500	23
		6M092		P三重	8	2	10,000	23
		6M093		P伊勢	8	2	13,500	23
		6M094		P三重	5	4	33,500	24
		7M071	旋盤加工応用技術	P伊勢	5	2	17,500	25
	金属加工/成型加工	6M111		P三重	5	2	17,500	25
		6M121	New フライス盤加工技術（六面体加工編）	P三重	5	2	17,500	25
		6M122		P三重	5	2	17,500	25
		6M123		P伊勢	5	2	17,500	25
		6M124		P三重	5	2	17,500	25
		6M161		P伊勢	5	2	17,500	25
		6M162	New フライス盤加工技術（エンドミル加工編）	P三重	5	2	17,500	25
		6M163		P伊勢	5	2	17,500	25
		6M164		P三重	5	2	17,500	25
		7M121	New フライス盤加工技術	P伊勢	5	3	19,500	26
		6M131	フライス盤加工応用技術	P三重	5	4	35,000	26
		7M081	NC旋盤プログラミング技術	P伊勢	10	4	20,000	27
		6M141	NC旋盤加工技術	P三重	6	3	22,500	27
		6M142		P三重	6	3	22,500	27
		7M091	マシニングセンタプログラミング技術	P伊勢	10	4	20,000	28
		6M151	マシニングセンタ加工技術	P三重	6	3	26,000	28
		6M152		P三重	6	3	26,000	28
		6M251	TIG溶接技能クリニック	P三重	10	2	13,500	29
		6M252		P三重	10	2	13,500	29
		6M261	TIG溶接技能クリニック（各種姿勢編）	P三重	10	2	13,500	29
		7M531	ステンレス鋼のTIG溶接技能クリニック	P伊勢	10	2	12,000	30
		7M532		P伊勢	10	2	12,000	30
		7M561	パルスTIG溶接実践技術	P伊勢	10	2	15,500	30
		6M231		P三重	10	2	12,000	31
		6M232	半自動アーク溶接技能クリニック	P伊勢	10	2	12,000	31
		7M521		P伊勢	10	2	12,000	31
		7M522		P三重	10	2	12,000	31
		6M241	半自動アーク溶接技能クリニック（各種姿勢編）	P三重	10	2	12,000	31
		6M211	被覆アーク溶接技能クリニック	P三重	10	2	12,000	32

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				26火~27水 7木~8金							
20火~21水				5火~6水 21木~22金							
				10木~11金				11木~12金			
22火~24木											
15火~16水					16火~17水						10火~11水
17木~18金					18木~19金						12木~13金
	2月~4水			18月~20水							25水~27金
20火~22木	5木~6金			21木~22金							2月~3火
27火~28水		8火~9水									17火~18水
	17火~18水	10木~11金									19木~20金
19木~20金		7/31木~8/1金			7火~8水						
		15火~17木									
8火~9水		28月~29火									5木~6金
22火~23水		22火~23水			29月~30火						27火~28水
24木~25金		24木~25金			1火~2木						29木~30金
	5木~6金					18火~21金					
10火~11水		1火~2水				11火~12水					2月~3火
12木~13金	3木~4金					13木~14金					4水~5木
14火~16金					28火~31金						
7水~9金		1火~4金			8水~10金						
18水~20金					16火~19金						10火~12水~13金
	16水~17木				9火~10水						
25水~26木					28火~29水						
23火~24木	13火~14水										
21木~22木						11火~12水					
	17火~18水					5水~6木					27火~28水
						9火~10水					

	分類	コース番号	コース名	会場	定員	日数	受講料	ページ
機械系	金属加工/成型加工 材料特性/材料評価	7M511	被覆アーチ溶接技能クリニック	P伊勢	10	2	12,000	32
		7M512	被覆アーチ溶接技能クリニック（各種姿勢編）	P三重	10	2	12,000	32
		6M221	被覆アーチ溶接技能クリニック（各種姿勢編）	P伊勢	10	2	14,500	33
		7M571	New 機械材料の特性と選定技術	P伊勢	10	2	13,500	33
	金属加工/成型加工	7M541	ろう付技能クリニック	P伊勢	10	2	15,000	34
		7M551	設計・施工管理に活かす溶接技術	P伊勢	10	2	15,000	34
		6M271	New 設計・施工管理に活かす溶接技術（学科オンライン）	P三重	12	3	15,000	34
		6M272						
		6M281	New 抵抗スポット溶接実践技術（学科オンライン）	P三重	12	2	12,000	35
電気系	機器組立/システム組立	7E011	基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術	P伊勢	10	2	11,000	36
		6D211	New 基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術＜表面実装編＞	P三重	10	2	15,000	36
	生産設備保全	6D011						
		6D012						
		6D013	現場のための電気保全技術（電気保全実務編）	P三重	12	2	15,000	37
		6D014						
		6D015						
	制御システム設計	7E021	有接点シーケンス制御の実践技術	P伊勢	10	2	8,000	37
		7E022						
		6D021						
		6D022	New 有接点シーケンス制御の実践技術＜制御回路配線編＞	P三重	12	2	10,000	38
		6D023						
		6D024						
		6D031	New シーケンス制御による電動機制御技術＜モータ活用編＞	P三重	10	2	14,000	38
		6D032						
	機器組立/システム組立	6D041	★ 制御盤製作技術	P三重	10	3	17,000	39
		6D051	保護継電器の評価と保護協調＜高圧受変電設備の保守技術＞	P三重	10	2	17,000	39
	制御システム設計	6D061		P三重	10		10,000	
		6D062		P伊勢	10	2	8,500	40
		7E031	PLC制御の回路技術 三菱FX					
		7E032						
		6D071	PLC制御の回路技術 三菱Q	P三重	10	2	10,000	40
		6D081	PLC制御の回路技術 三菱R	P三重	10	2	10,000	41
		6D091	★ PLC制御応用技術（応用命令編） 三菱Q	P三重	10	2	10,000	41
		6D181	New PLCプログラミング技術（仕分け作業）	P三重	10	2	15,000	42
		6D171	New PLCによるタッチパネル活用技術	P三重	10	2	14,000	42
		6D151	PLCによる位置決め制御技術	P三重	5	2	16,000	43
		6D121	New PLCによるFAセンサ活用技術＜現場のトラブル解決編＞	P三重	10	2	15,000	43
		6D191	★ 電気系保全実践技術＜機械保全 電気系保全作業＞	P三重	10	2	15,000	44
	生産設備保全	6D131						
		6D132	空気圧回路設計実践技術	P三重	5	2	16,000	45
		6D141	電気空気圧技術	P三重	5	2	16,000	45
	生産設備保全	6D201	New 空気圧設備の省エネルギー技術	P三重	10	2	19,000	46
		6D161	冷媒配管の施工と空調機器据付け技術（ルームエアコン編）	P三重	10	2	12,000	46
居住系	建築設計/建築意匠設計	6H011		P三重	10	2	10,500	47
		6H012	実践建築設計2次元CAD技術（利用編） Jw_cad	P伊勢	10	2	9,000	47
		7H021						
		6H021		P三重	10	2	7,000	47
		6H022	実践建築設計2次元CAD技術（活用編） Jw_cad	P伊勢	10	2	9,000	47
		7H031						
		6H031	実践建築設計2次元CAD技術（利用編） AutoCAD	P三重	10	2	10,500	48
		6H041	実践建築設計2次元CAD技術（活用編） AutoCAD	P三重	10	2	7,000	48
		6H051						
		6H052		P三重	10	2	10,000	49
		6H053		P伊勢	10	2	11,000	49
		7H151						
	建築構造設計	6H061		P三重	10	2	10,500	49
		6H062						
		6H063	BIMを用いた建築設計技術 Revit	P三重	10	2	10,500	49
		6H071	高齢者配慮住宅のリフォーム計画実践技術	P三重	10	2	7,500	50
	建築構造設計	6H081	New 木造住宅における壁量計算技術	P三重	10	2	17,000	50
		6H091	木造住宅における許容応力度設計技術	P三重	10	2	17,500	51
		6H101	New 木造住宅の架構設計技術	P三重	10	2	16,500	51
	建築設計/建築意匠設計	6H111	実務事例に基づく建築確認申請実践対策技術	P三重	10	2	16,000	52
		7H011	★ New 電気設備CADを用いた3次元モデリング技術	P伊勢	10	2	18,000	52
	建築構造設計	7H061	New 剛性マトリクス法のためのマトリクス演算実践技術	P伊勢	10	2	10,000	53
		7H071	New 剛性マトリクス法による二次元骨組解析実践技術	P伊勢	10	3	14,000	53
		7H041	静定構造物の構造解析技術	P伊勢	10	4	16,500	54
		7H051	不静定構造物の構造解析技術	P伊勢	10	3	10,000	54
	建築施工	7H101	施工図作成実践技術	P伊勢	10	2	11,000	55
		7H081	隅木・振垂木の施工実践技術	P伊勢	10	3	13,000	55
	木材加工/建築部材加工	7H091	継手・仕口の施工実践技術	P伊勢	10	4	18,500	56

- 各コースの詳細内容については(P15~56)をご覧ください。
- 従業員教育を効率よくすすめるため、三重・伊勢の各ポリテクセンターで実施するセミナーを体系化して掲載(P7~14)しておりますのでご覧ください。
- ★マークのコースは3週間前が締め切りです。詳しくはP65をご覧ください。
- Newは2025年度新規コースです。Renewはリニューアルコースになります。内容が昨年までと異なりますので、詳細ページより、必ず内容のご確認をお願いします。
- このパンフレットに掲載しているコース内容以外の内容についても、実施可能な内容に関しましては対応いたします。ぜひ、ご相談ください。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			2日～3日								3日～4日
				28日～29日							
				21日～22日		21日～22日					
					23日～24日						
		Web:16月～17日 実技:30月							Web:14日～15日 実技:26月		
	Web:25日	実技:2日									
		10日～11日			2日～3日						
28日～29日			29日～30日		24日～25日			1月～2日	14日～15日		
		24日～25日					16日～17日				
		4日～5日		4月～5日		16日～17日		11日～12日			
					7日～8日				9月～10日		
		9日～10日				18日～20日					
21日～22日						5日～6日					
				9日～10日				4日～5日			
	25日～26日					1日～2日					
		2日～3日				7日～8日					
	17日～18日			15日～16日							
	10日～11日					26日～27日					
15日～16日					28日～29日		12日～13日		25日～26日		
						4日～5日					
16日～23日						15日～22日					
	27日～28日										
	14日～21日						12日～19日				
	17日～18日										
19日～20日											
	17日～18日			18日～25日		25日～26日		10日～17日			
					10日～11日						
		6日～7日			8日～9日			14日～15日			
	10日～11日				25日～26日			14日～15日			
						23日～24日					
				17日～18日			2日～3日				
			23日～30日		9/13日～20日・10/11日						
	6/7日～14日・28日・7/5日										
		7/19日～26日・8/9日					19日～20日				
	27日～29日			3日～6日							

〈会場名〉 ポリテクセンター三重→P三重 ポリテクセンター伊勢→P伊勢

お問い合わせ先 **ポリテクセンター三重 訓練課 TEL 059-320-2645**
ポリテクセンター伊勢 訓練課 TEL 0596-37-3121

能力開発セミナーの活用のために (推奨フロー)

ポリテクセンター三重・伊勢で計画しているコースを活用して、体系的に技能・技術を向上させるための推奨フローです。効率的な技能・技術の向上のために、ぜひご参照ください。

下記のとおり開催場所ごと色分けをしています。

ポリテクセンター三重

ポリテクセンター伊勢

ポリテクセンター三重
ポリテクセンター伊勢

Renew リニューアルコースになります。内容が昨年までと異なりますので、詳細ページより、必ず内容のご確認をよろしくお願ひいたします。

New 新規のコースになります。詳細ページより、内容のご確認をよろしくお願ひいたします。

コースフローの矢印 (↓) は、受講推奨順を表しています。

生産管理系

ポリテクセンター三重

ポリテクセンター伊勢

ポリテクセンター三重
ポリテクセンター伊勢

生産性や品質の維持・向上を目指す方

IE手法を活用した現場改善

三重
伊勢

P.15

製造業に活かす品質管理技法

三重
伊勢

P.15

New

なぜなぜ分析による
真の要因追及と現場改善

三重

P.16

安全指導・業務改善に取り組みたい方

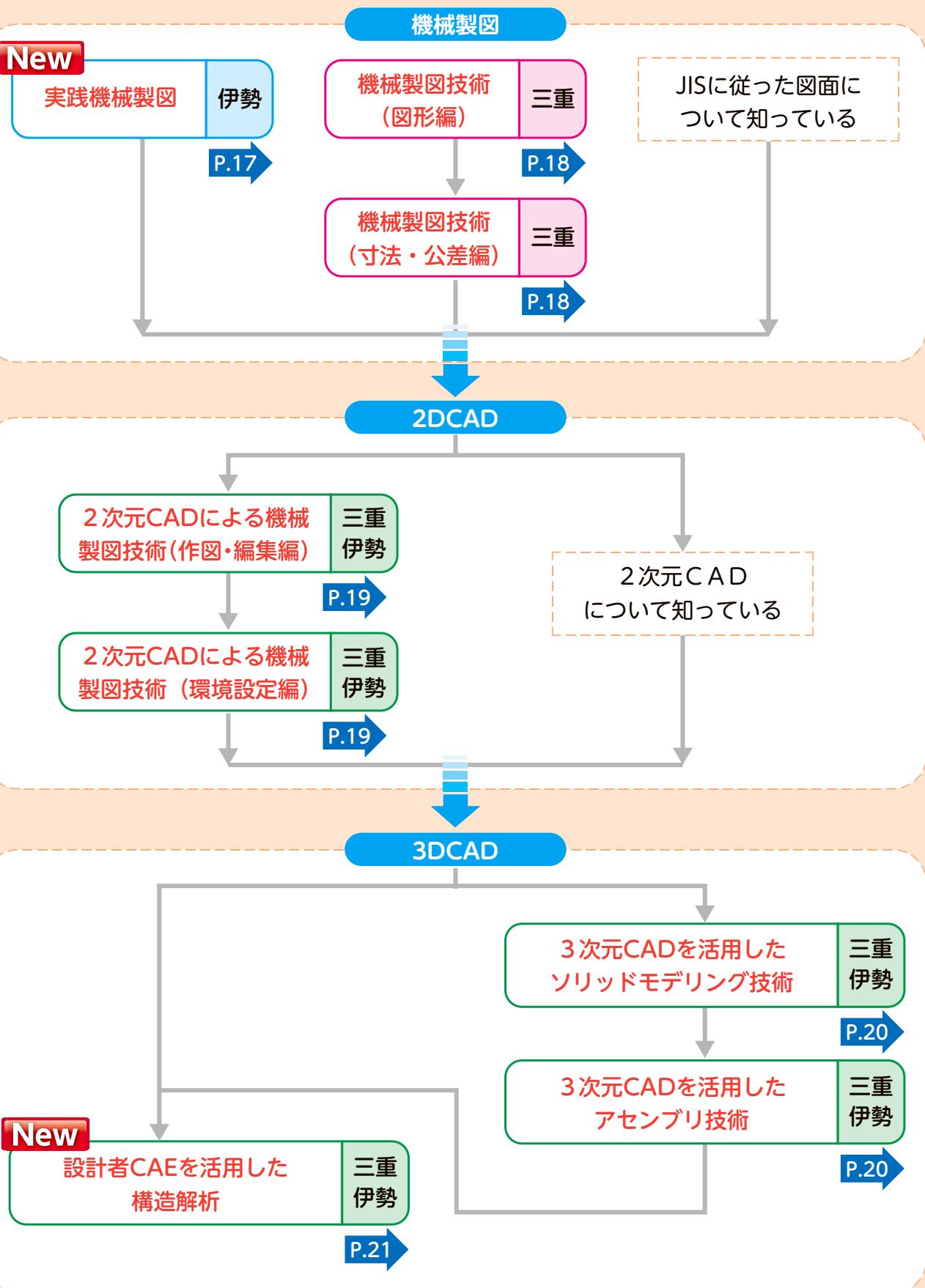
★ヒューマンエラー防止実践手法

三重

P.16

機械設計業務に取り組みたい方

セミナー活用のため
（フロー図）



機械加工業務に取り組みたい方

JISによる図面について知っている

精密測定技術

三重
伊勢

P.22

汎用工作機械

旋盤加工技術
(外径加工編)

三重
伊勢

P.23

旋盤加工技術
(内径加工編)

三重
伊勢

P.23

旋盤加工
応用技術

三重

P.24

New

フライス盤
加工技術

伊勢

P.26

New

フライス盤加工技術
(六面体加工編)

三重

P.25

New

フライス盤加工技術
(エンドミル加工編)

三重

P.25

フライス盤加工応用技術

三重

P.26

NC工作機械

NC旋盤
プログラミング技術

伊勢

P.27

マシニングセンタ
プログラミング技術

伊勢

P.28

New

CAM技術

伊勢

P.21

NC旋盤加工技術

三重

P.27

プログラム・加工

マシニングセンタ
加工技術

三重

P.28

機械系(溶接)

ポリテクセンター三重

ポリテクセンター伊勢

ポリテクセンター三重

ポリテクセンター伊勢

溶接業務に取り組みたい方

セミナー活用のため
（フロー図）

TIG溶接

TIG溶接技能クリニック

三重

ステンレス鋼の
TIG溶接技能クリニック

伊勢

TIG溶接技能クリニック
(各種姿勢編)

三重

パルスTIG溶接実践技術

伊勢

半自動アーク溶接技能クリニック

三重
伊勢

被覆アーク溶接技能クリニック

三重
伊勢

半自動アーク溶接技能クリニック
(各種姿勢編)

三重

被覆アーク溶接技能クリニック
(各種姿勢編)

三重

★ろう付技能クリニック

伊勢

New

抵抗スポット溶接実践技術
(学科オンライン)

三重

P.29

P.30

P.31

P.32

P.33

P.35

溶接設計・施工管理に取り組みたい方

New

機械材料の特性と選定技術

伊勢

設計・施工管理に活かす溶接技術

伊勢

P.33

P.34

New

設計・施工管理に活かす溶接技術
(学科オンライン)

三重

P.34

制御盤(電気機器)組立の業務に取り組みたい方

New

基板製作に係る
鉛フリーはんだ付け技術
<表面実装編>

三重

P.36

基板製作に係る
鉛フリーはんだ付け技術

伊勢

P.36

現場のための電気保全技術
(電気保全実務編)

三重

P.37

有接点シーケンス制御

Renew

有接点シーケンス制御の実践技術
<制御回路配線編>

三重

P.38

有接点シーケンス制御の実践技術

伊勢

P.37

Renew

シーケンス制御による
電動機制御技術<モータ活用編>

三重

P.38

★制御盤製作技術

三重

P.39

高圧設備の業務に 取り組みたい方

エアコンの業務に 取り組みたい方

現場のための電気保全技術
(電気保全実務編)

三重

P.37

保護継電器の評価と保護協調
<高圧受変電設備の保守技術>

三重

P.39

現場のための電気保全技術
(電気保全実務編)

三重

P.37

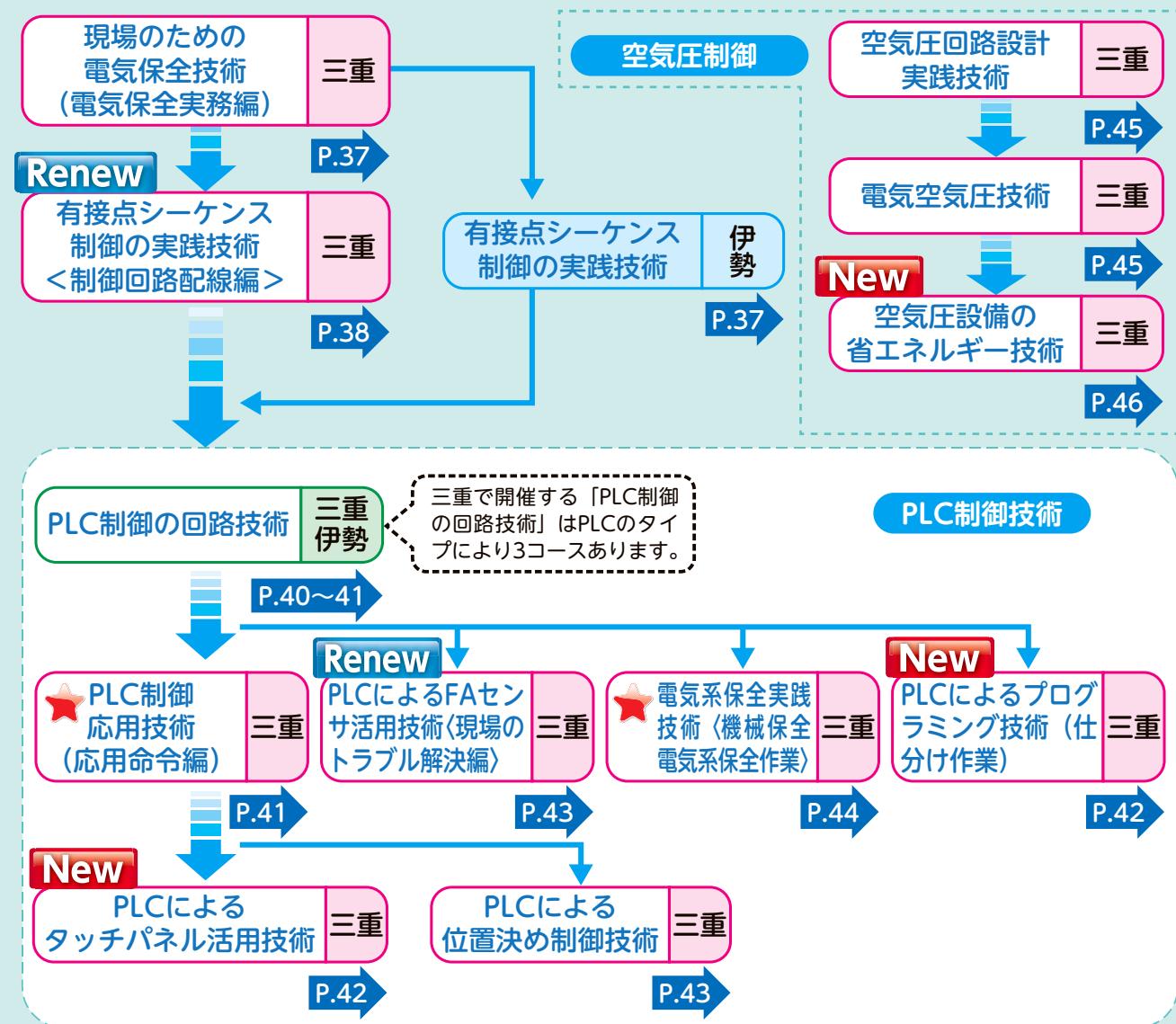
冷媒配管の施工と空調機器据付け技術
(ルームエアコン編)

三重

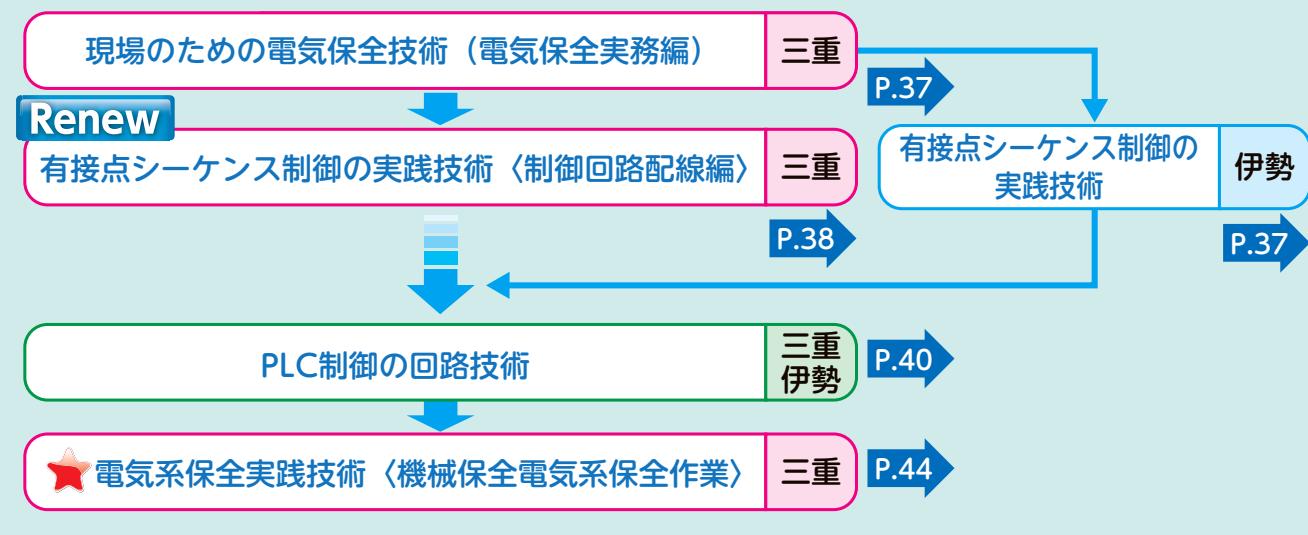
P.46

シーケンス制御の業務に取り組みたい方

セミナー活用のため
(フロー図)



技能検定を業務に活用したい方



住宅設計業務に取り組みたい方

2次元CAD

実践建築設計 2次元CAD技術
(利用編) Jw_cad

三重
伊勢

実践建築設計 2次元CAD技術
(活用編) Jw_cad

三重
伊勢

P.47

P.47

実践建築設計 2次元CAD技術
(利用編) AutoCAD

三重

実践建築設計 2次元CAD技術
(活用編) AutoCAD

三重

P.48

P.48

建築設計プレゼンテーション

実践建築設計 3次元CAD技術
3Dマイホームデザイナー Pro9

三重
伊勢

P.49

BIMを用いた
建築設計技術

三重

P.49

New

電気設備CADを用いた
3次元モデリング技術

伊勢

P.52

建築計画

高齢者配慮住宅の
リフォーム計画実践技術

三重

P.50

実務事例に基づく
建築確認申請実践対策技術

三重

P.52

確認申請

建築構造設計業務に取り組みたい方

在来軸組構法

New

木造住宅における
壁量計算技術

三重

木造住宅における
許容応力度設計技術

三重

New

木造住宅の架構設計技術

三重

P.50

P.51

P.51

構造力学

静定構造物の構造解析技術

伊勢

不静定構造物の構造解析技術

伊勢

P.54

P.54

New

剛性マトリクス法のための
マトリクス演算実践技術

伊勢

New

剛性マトリクス法による
二次元骨組解析実践技術

伊勢

P.53

P.53

施工業務に取り組みたい方

木材加工

隅木・振垂木の施工実践技術

伊勢

継手・仕口の製作実践技術

伊勢

P.55

P.56

建築施工業務に取り組みたい方

施工図作成実践技術

伊勢

P.55

IE手法を活用した現場改善

P 三重

P 伊勢

訓練内容

ものづくりとは単に「ものを作る」ことでなく、継続的に原価低減に努め、かつ品質の良い製品をタイムリーに製造し、顧客に提供する一連の「システム」です。本セミナーでは生産管理・生産技術の担当者または現場リーダとして日々現場の現場改善に取り組んでいる方が生産管理・工程管理の知識も習得しつつ、「ものづくりシステム」を実習を通じて体験的に身につけることをめざします。

1. コース概要

2. 生産性向上のための現場運用の視点

- (1) 品質とは問題とは
- (2) 目で見る管理(見える化)
- (3) トヨタ生産システム

3. IE分割手法と実習

- (1) 工程分析
- (2) 動作分析と動作経済の原則
- (3) 標準作業と作業標準
- (4) 運搬分析
- (5) ラインバランス
- (6) 組み立てラインの生産性改善演習

4. まとめ



定員

10名

受講料

9,000円

前提知識

- ・将来的に製造現場の業務（加工・組立・検査・梱包等）に携わる・携わった経験のある方

コース番号

開催日

会場

7M211

8/7(木)、8(金)

P 伊勢

6M311

8/26(火)、27(水)

P 三重

訓練時間

9:00～16:00

2日 (12時間)

使用機器

ストップウォッチ (スマホ可)

持参品

筆記用具、電卓 (スマホ可)

利用者の声

- ・自分達で実践して、どの工程が良いか悪いかの判断や改善の考え方方がわかった。

製造業に活かす品質管理技法

P 三重

P 伊勢

訓練内容

生産管理・生産技術の担当者または現場リーダとして製品等の品質向上に取り組んでいる方を対象にしたコースです。
パソコンを使った現状把握・異常検知の手法として従来から使用されている「QC7つ道具」の知識・技能の習得とともに、その歴史的背景や統計的考え方を身につけることをめざします。

1. コースの概要

2. 製造業における品質管理の技法

- (1) 品質とは
- (2) 品質管理の歴史・デミングの実験
- (3) データのとり方とまとめ方
- (4) 検査の種類
- (5) 品質管理における統計的手法
- (6) QC7つ道具

3. 生産現場における管理手法の活用演習

4. 応用課題

5. まとめ



定員

10名

受講料

10,500円

前提知識

- ・表計算ソフトでSUM関数（合計）が使用できること

コース番号

開催日

会場

6M321

5/20(火)、21(水)

P 三重

7M221

8/5(火)、6(水)

P 伊勢

訓練時間

9:00～17:00

2日 (14時間)

使用機器

パソコン、表計算ソフト

持参品

筆記用具、電卓 (スマホ可)

利用者の声

- ・効率的な業務遂行の手助けになると感じた。
- ・それぞれの表・グラフの役割がよくわかりました。

New なぜなぜ分析による 真の要因追求と現場改善

講師:株式会社MxEコンサルティング
(予定)

P 三重

訓練内容

製造現場のリーダーとして働いている技術者が、事例研究やグループ実習を通して、「なぜ!なぜ!」を繰り返し真の要因を追求する技術、原理・原則に基づき三現主義（現場・現物・現実）で現場改善を実践する方法、多角的な見方・考え方を習得します。

1. 問題解決の進め方

- (1)管理のサイクル(デミングサイクル)
- (2)問題解決の進め方 (3)問題解決に活用する手法
- (4)不良・故障の発生要因 (5)相対目標と絶対目標
- (6)課題実習(現状分析能力の確認)

2. なぜ-なぜ分析

- (1)なぜ-なぜ分析とは (2)なぜ-なぜ分析の進め方
- (3)なぜ-なぜ分析事例研究

3. 工程の原理・原則

- (1)工程精通(工程の原理・原則) (2)原則発見のポイント
- (3)工程精通事例研究

4. ポカミス防止

- (1)ポカミスとは(真の要因が追求できていない代表事例)
- (2)ポカミスの発生 (3)ポカミス防止の可能性
- (4)ポカミスにおけるマネジメントシステム
- (5)ポカミス防止へのアプローチ

5. グループ実習

- (1)問題の真の要因追求 (2)解決すべき課題の整理
- (3)改善計画の立案 (4)発表

6. まとめ



定 員	24名	受 講 料	20,500円
-----	-----	-------	---------

前提知識

- 特になし

コース番号	開催日	会場
6M341	8/21(木)、22(金)	P三重
6M342	12/11(木)、12(金)	P三重

訓練時間

9:00~16:00
2日 (12時間)

使用機器

プレゼンテーション機器等

持参品

筆記用具

講師からの一言

• ポリテクセンター中部で人気のセミナーを、ポリテクセンター三重でも実施することとなりました。

ヒューマンエラー防止実践手法

講師:増井 孝夫(予定)

P 三重

訓練内容

製造現場の安全性向上（作業環境対策）をめざして、ヒューマンエラーの現状や発生のメカニズムを認識し、エラー低減に必要な防止策（現場改善等）を講じるための abilities を習得します。

1. 導入と認識

- (1)ヒューマンエラー防止活動の重要性について
- (2)導入実技課題実習
- (3)固定観念払拭

2. 脳の働きとエラー

3. エラーのメカニズム

- (1)脳の構造と役割
- (2)エラーの深層心理
- (3)繰り返しの浸透
- (4)不注意の心理、発生原因、対策



4. 製造業におけるエラーの分類

5. エラーの防止策

6. 課題の把握・解決策検討演習

- (1)事例研究(資料・ビデオにおける製造職場でのヒューマンエラー)
- (2)グループ討議、まとめ、グループ発表



7. 職場改善演習

8. まとめ

定 員	15名	受 講 料	9,000円
-----	-----	-------	--------

前提知識

- 特になし

コース番号	開催日	会場
6M331	7/10(木)、11(金)	P三重

訓練時間

9:00~16:00
2日 (12時間)

使用機器

ビデオ、プレゼンテーション機器一式

持参品

ノート、筆記用具

利用者の声

• 危険に対する感受性を高めていくことで生産性・品質向上につながることが学べた。
• 社内での手法しか知らなかつたが、本来の手法を知ることが出来た。

訓練内容

機械製図作業または機械図面を取り扱う作業に従事されている方、これから従事する予定の方を対象としたコースです。
部品図を描くうえで、部品加工などを考慮した寸法・公差などの記入について習得します。

定員 10名 受講料 12,500円

前提知識 • 特になし

1. コース概要及び留意事項

2. 製図一般

- (1) 製図規格の確認
- (2) 投影法の確認
- (3) 図面より立体形状の実践的把握

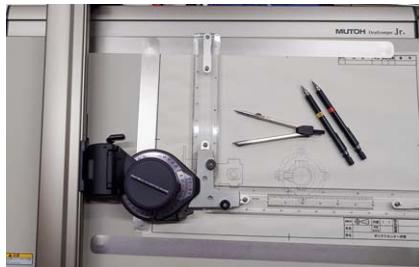
3. 機械製図上の留意事項

- (1) 製図立体モデルより2次元図面への効果的図示法
- (2) 加工を考慮した効果的寸法記入法
- (3) 機能上の要求に基づく公差記入法
- (4) 製品性能と表面性状

4. 実践的設計図面の描き方

- (1) 事例から学ぶ設計製図
- (2) 製図総合課題

5. まとめ



コース番号	開催日	会場
7M011	4/22(火)、23(水)、24(木)	P伊勢

訓練時間
9:00~16:00
3日 (18時間)

使用機器
小型製図板、各種製図用具

持参品
筆記用具

講師からの一言
• 昨年まで実施していた「機械製図技術（図形編）（寸法・公差編）」をリニューアルしました。

よくあるご質問

能力開発セミナーについて

Q 1 受講申し込みはどのようにしたらよいのですか？	22
Q 2 申し込む場合の条件はありますか？	22
Q 3 受講料の支払いはどのようにしたらよいのですか？	22
Q 4 受講申込書になぜ生年月日を記入する必要があるのですか？	24
Q 5 コースの概要について聞くことはできますか？	24
Q 6 希望するコースが定員に達している場合はどのようにしたらよいですか？	24
Q 7 申し込んだコースが中止になることはありますか？	35
Q 8 申し込んだコースをキャンセルしたいのですがどのようにしたらよいですか？	35
Q 9 申し込んだコースを欠席する場合はどのようにしたらよいですか？	35
Q 10 申し込んだ後で、受講者を変更することはできますか？	44
Q 11 同じ内容の別日程のコースに変更できますか？	44
例: 6M023(8/22、23)に申し込んだ→6M024(11/7、8)へ変更したい)	
Q 12 受講する際の服装・持ち物はどのようにしたらよいですか？	56
Q 13 各コースの会場(教室)へはどのように行けばよいですか？	56
Q 14 駐車場はありますか？	56

機械製図技術（図形編）

P 三重

訓練内容

機械製図作業または機械図面を取り扱う作業に従事されている方、これから従事する予定の方を対象としたコースです。部品図を描くうえで、部品加工などを考慮した図形の描き方について習得します。

1. 機械製図
2. 図形の表し方
 - (1) 投影図
 - (2) 断面図
 - (3) 図形の省略
3. 部品の役割の検討
 - (1) 中心線の記入上の注意
 - (2) 基準を意識した作図
4. 課題演習

昨年まで
年2回実施していた
「機械製図技術（図形編）」
「機械製図技術（寸法・公差編）」
を年3回にして
日程選択の幅を
ひろげました



※「機械製図技術（寸法・公差編）」とセットコースです。連続受講を推奨します。

定員	12名	受講料	9,000円
----	-----	-----	--------

前提知識	・特になし
------	-------

コース番号	開催日	会場
6M031	4/15(火)、16(水)	P 三重
6M032	9/16(火)、17(水)	P 三重
6M033	2026/3/10(火)、11(水)	P 三重

訓練時間

9:00～16:00
2日 (12時間)

使用機器

持参品

筆記用具

利用者の声

・何となく知っていた内容の基礎部分を学ぶことができ、理解を深めることができた。

機械製図技術（寸法・公差編）

P 三重

訓練内容

機械製図作業または機械図面を取り扱う作業に従事されている方、これから従事する予定の方を対象としたコースです。部品図を描くうえで、部品加工などを考慮した寸法・公差などの記入について習得します。

1. 寸法記入
2. 寸法公差とはめあい
3. 幾何公差
4. 表面性状
5. 課題演習



※「機械製図技術（図形編）」とセットコースです。連続受講を推奨します。

定員	12名	受講料	7,000円
----	-----	-----	--------

前提知識	・「機械製図技術（図形編）」とセットコースになります
------	----------------------------

コース番号	開催日	会場
6M041	4/17(木)、18(金)	P 三重
6M042	9/18(木)、19(金)	P 三重
6M043	2026/3/12(木)、13(金)	P 三重

訓練時間

9:00～16:00
2日 (12時間)

使用機器

持参品

筆記用具、テキスト

※上段コースと同じテキストを続けて使用します。

利用者の声

・詳しい説明があって理解しやすかった。
・質問にもわかりやすく答えてもらったので疑問点が解消できた。

2次元CADによる機械製図技術（作図・編集編）

P三重

P伊勢

訓練内容

設計業務またはトレース業務に従事されている方、これから従事する予定の方を対象としたコースです。

2次元CADの活用による効率化と生産性の向上をめざして、図面の作図方法について習得します。

1. コースの概要及び留意事項

2. 構想から図面への考え方

- (1)構想を図面化する
- (2)新規設計と流用設計について

3. 機械製図の留意事項

- (1)図面から立体形状を把握する
- (2)投影法の選択
- (3)寸法記入及び公差記入
- (4)表面性状と幾何公差記入

4. 製図効率を向上させるための準備

- (1)事前に準備しておくべき事項
- (2)基本構想段階でのCADの使い方
- (3)詳細設計段階でのCADの使い方
- (4)製図段階でのCADの使い方

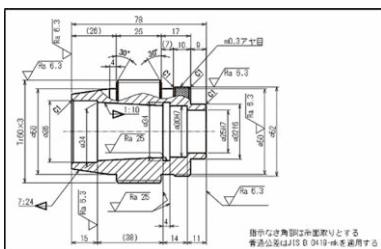
5. 実践課題

6. 図面作成

- (1) 部品図の製図
- (2) 組立図の製図
- (3) 図面出図

7. まとめ

※テンプレートの作成等CADの使用環境については、後日開催の「2次元CADによる機械製図技術（環境設定編）」で行います。



定員 10名

受講料

12,000円

前提知識

- 基本的なパソコン操作及び入力ができる方

コース番号

開催日

会場

7M031 5/20(火)、21(水)、22(木) P伊勢

6M011 6/2(月)、3(火)、4(水) P三重

6M012 8/18(月)、19(火)、20(水) P三重

6M013 2026/2/25(水)、26(木)、27(金) P三重

訓練時間

9:00~16:00

3日 (18時間)

使用機器

AutoCAD

持参品

筆記用具

利用者の声

- 見るだけだったのが、作成の仕方等理解できた。
- 新たな知識が増え、業務の効率が上がると感じた。

2次元CADによる機械製図技術（環境設定編）

P三重

P伊勢

訓練内容

設計業務またはトレース業務に従事されている方、これから従事する予定の方、CADの初期導入に関わる予定の方を対象としたコースです。

2次元CADの活用による効率化と生産性の向上をめざして、図面の作図方法、CADを使用する環境設定の構築法について習得します。

(2次元CADの操作全般については、事前に開催する「2次元CADによる機械製図技術（作図・編集編）」で行います（連続受講推奨）。)

1. コースの概要及び留意事項

2. 製図作業効率向上のための準備

- (1)テンプレートの利用
- (2)テンプレートの作成
 - イ. 画層設定
 - ロ. 文字スタイル
 - ハ. 寸法スタイル
- 二. 引出線・ブロックの設定

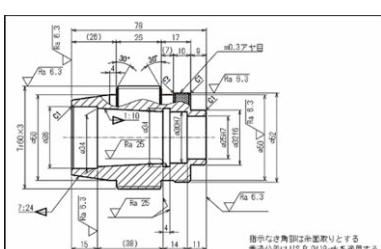
3. 実践課題

4. 印刷設定

- (1)レイアウト環境設定
 - イ. モデル空間設定
 - ロ. レイアウト空間設定
 - ハ. 異尺度設定
- (2)ページ設定

5. まとめ

※2次元CADによる機械製図技術（作図・編集編）との連続受講をお勧めします。



定員 10名

受講料

8,000円

前提知識

- 事前に実施される、「2次元CADによる機械製図技術（作図・編集編）」を受講される方、または同等の技能・技術をお持ちの方

コース番号

開催日

会場

7M041 5/27(火)、28(水) P伊勢

6M021 6/5(木)、6(金) P三重

6M022 8/21(木)、22(金) P三重

6M023 2026/3/2(月)、3(火) P三重

訓練時間

9:00~16:00

2日 (12時間)

使用機器

AutoCAD

持参品

筆記用具

利用者の声

- 業務上、CADが必要だが、CADの技能がなかった為、今日と前回のセミナーで技能が身につき、非常に助かりました。

3次元CADを活用したソリッドモデリング技術

P 三重

P 伊勢

訓練内容

3次元CADの活用法について、ソリッドモデリングの実習を通して習得します。主に、3次元CADの概要、パラメトリックモデリング、フィーチャー操作等を行います。

1. コース概要及び留意事項

2. 設計とは

- (1) 製品設計とは
- (2) 設計の流れと検証ツール

3. 3次元CADの概要

- (1) 3次元CADの特徴
- (2) パラメトリック、フィーチャベース、モデリングについて
- (3) フィーチャの種類
- (4) モデル構築履歴
- (5) 実習問題

4. モデリング時のポイント

- (1) 設計で重要な部分での着目点
- (2) スケッチ環境とモデル環境
- (3) スケッチ作成時のポイント
- (4) フィーチャ作成時のポイント
- (5) 実習問題

5. 構想設計

- (1) アイデアの抽出
- (2) ポンチ絵作成
- (3) 部品リスト作成
- (4) 樹系図作成



6. 総合演習

- (1) 総合演習
- (2) 解説

7. まとめ

※「3次元CADを活用したアセンブリ技術」とセットコースです。連続受講を推奨します。

定 員

10名

受 講 料

8,500円

前提知識

- 基本的なパソコン操作及び入力ができる方

コース番号

開催日

会場

7M101 6/17(火)、18(水)

P 伊勢

6M051 7/8(火)、9(水)

P 三重

6M052 2026/2/17(火)、18(水)

P 三重

訓練時間

9:00～16:00

2日(12時間)

使用機器

SOLIDWORKS

持参品

筆記用具

利用者の声

- 独学ではわからなかった点や、効率良くモデリングする方法を学ぶことができた。

機械系

3次元CADを活用したアセンブリ技術

P 三重

P 伊勢

訓練内容

設計業務の効率化とこれによる製品の高付加価値化をめざして、「製品(部品)機能=フィーチャー(形状特徴)」と捉えた3次元CADの活用方法と、組立検討法および図面作成法を習得します。

1. コースの概要及び留意事項

- (1) コースの目的
- (2) 専門的能力の現状確認
- (3) 安全上の留意事項

2. 設計とは

- (1) 製品設計とは
- (2) 設計の流れと検証ツール

3. アセンブリ3ヶ条

- (1) 重要なモノから組み付ける
- (2) 基準を明確にする
- (3) 1ユニット=1サブアセンブリ

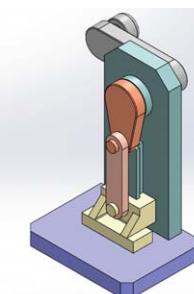
4. 検証ツールとアセンブリ3ヶ条

- (1) 設計で重要な部分での着目点
- (2) アセンブリの基準とサブアセンブリ基準の関係
- (3) ボトムアップアセンブリとトップダウンアセンブリ
- (4) 実習問題

5. 検証作業

- (1) アセンブリ機能を活用した検証方法
(干渉チェック、重心チェック)
- (2) 図面を活用した検証方法
- (3) 実習問題(ボトムアップアセンブリ)
- (4) 実習問題(トップダウンアセンブリ)

6. まとめ



※「3次元CADを活用したソリッドモデリング技術」とセットコースです。連続受講を推奨します。

定 員

10名

受 講 料

8,500円

前提知識

- 「3次元CADを活用したソリッドモデリング技術」とセットコースになります

コース番号

開催日

会場

7M111 6/19(木)、20(金)

P 伊勢

6M061 7/10(木)、11(金)

P 三重

6M062 2026/2/19(木)、20(金)

P 三重

訓練時間

9:00～16:00

2日(12時間)

使用機器

SOLIDWORKS

持参品

筆記用具

利用者の声

- SOLIDWORKSは未経験でしたがわかりやすかったので、アセンブリの操作等が理解できた。

New 設計者CAEを活用した構造解析

P 三重

P 伊勢

訓練内容

製品設計の品質向上・最適化を目指してCAEの特徴を理解し、境界条件設定、荷重設定、メッシュ分割などの一連の流れを実習を通じて学び結果の評価方法等に関する知識・技能を習得します。

1. コース概要及び留意事項

2. 設計と構造解析概論

- (1) 設計とCAE
- (2) CAEの長所と短所
- (3) 有限要素法とは
- (4) 強度設計の基本的立場

3. 有限要素法メッシュと精度

- (1) 有限要素の特徴
- (2) フィレットと隅角部
- (3) 解析結果の精度

4. モデル化

- (1) 形状の簡略化と精度
- (2) 境界条件

5. ソルバ

- (1) ソルバとは
- (2) 計算処理について

6. アセンブリ解析

7. 熱解析

- (1) 熱力学について
- (2) 非定常伝熱解析
- (3) 熱応力解析

8. 解析事例及びモデリング、評価

9. まとめ



定員 10名

受講料

8,000円

前提知識

- 基本的なパソコン操作及び入力ができる方

コース番号

6M301

7/31(木)、8/1(金)

7M141

10/7(火)、8(水)

P 三重

P 伊勢

開催日

P 三重

P 伊勢

会場

訓練時間

9:00～16:00

2日 (12時間)

使用機器

SOLIDWORKS simulation

持参品

筆記用具

講師からの一言

- 他県で評価が高かったセミナーです。設計段階でCAEを活用して製品設計の効率化を図ってみませんか?

New CAM技術

P 伊勢

訓練内容

マシニングセンタでの生産性向上を目指してCAMによる加工データ(NCデータ)作成と実加工を通じて、一連の流れを理解します。また、金型加工などを想定した3軸同時加工での曲面加工に関する知識・技能を習得できます。

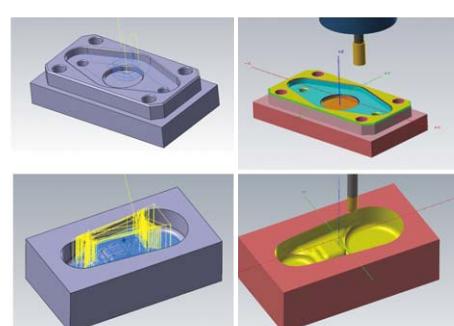
1. コース概要及び留意事項

2. CAMの概要

- (1) CAMの種類と用途
- (2) CADとCAM
- (3) データの有効利用について

3. 課題提示と加工データ作成

- (1) 加工工程の決定
- (2) 切削工具の選定
- (3) 切削条件の決定
- (4) シミュレーションによる確認
- (5) 加工データの作成(ポスト処理)
- (6) 3軸同時加工について
- (7) 3軸荒加工
- (8) 中仕上加工
- (9) 仕上加工



定員

10名

受講料

12,000円

前提知識

- NC機械加工に関する基礎知識を有することが望ましい。

コース番号

7M131

7/15(火)、16(水)、17(木)

P 伊勢

開催日

P 伊勢

会場

訓練時間

9:00～16:00

3日 (18時間)

使用機器

Mastercam (予定)

DMG森精機

NVX5060Ⅱ(三菱電機 M750BM)

持参品

作業帽、保護メガネ、筆記用具

※保護メガネは貸出可能です。

講師からの一言

- CAMを活用して高能率加工やシミュレーションでの加工検討を行い生産性を向上してみましょう。
- 2.5軸加工を2日間で、3軸加工を1日の予定で行います。

5. まとめ

訓練内容

新たにものづくりの仕事に従事する作業者の方、製造部門で検査や品質管理といった業務に従事する方を対象としたコースです。実習を通して、精密測定の理論、測定器（ノギス・マイクロメータなど）を現場で正しく取り扱うための知識・技能を習得することを目標とします。

定 員	10名	受 講 料	10,000円
-----	-----	-------	---------

前提知識	・特になし
------	-------

1. コース概要及び留意事項

2. 測定の重要性

- (1)測定と計測について (2)測定の重要性

3. 長さ測定実習

- (1)測定誤差の原因と対策

- イ.測定環境 ロ.寸法測定の誤差要因 ハ.各要因に対する対策方法

- (2)測定器の精度と特性

- イ.長さ基準とは ロ.測定器の信頼性 ハ.測定器の選択

- (3)ノギス、マイクロメータ、ハイトゲージ、てこ式ダイヤルゲージでの測定

- イ.構造、取扱い、調整

- ロ.量子化誤差、指示誤差、

- アッペの原理など

- ハ.ブロックゲージの取扱い

4.まとめ



コース番号	開催日	会場
6M071	4/8(火)、9(水)	P三重
6M072	7/28(月)、29(火)	P三重
6M073	2026/3/5(木)、6(金)	P三重
7M051	7/8(火)、9(水)	P伊勢

訓練時間

9:00～16:00

2日 (12時間)

使用機器

各種測定器（スケール・ノギス・マイクロメータ・ダイヤルゲージ・ブロックゲージ・ハイトゲージ・定盤など）

持参品

筆記用具

利用者の声

・測定器の使い方や管理方法を学ぶことができ、普段の仕事に活かせる。

よくあるご質問

能力開発セミナーについて

Q1 受講申し込みはどのようにしたらよいのですか？

A 「受講申込書」(パンフレット最終ページ)に必要事項をご記入の上、FAX、郵送、E-mail、又は持参にてお申し込みください。

Q2 申し込む場合の条件はありますか？

A 各コースの「前提知識」の欄をご覧ください。

Q3 受講料の支払いはどのようにしたらよいのですか？

A セミナー開講日の1か月半～1か月前に、「請求書」・「郵便局払込取扱票」・「受講票」をお送りいたします。原則として開講日の1週間前までに、お振り込み下さい。振込手数料はお客様負担となります。

お問い合わせ先

ポリテクセンター三重 TEL.059-320-2645 FAX.059-322-2890 E-mail:mie-poly02@jeed.go.jp
ポリテクセンター伊勢 TEL.0596-37-3121 FAX.0596-37-4914

旋盤加工技術（外径加工編）

P 三重

P 伊勢

訓練内容

旋盤加工作業に従事されている方、これから従事する予定の方を対象としたコースです。
普通旋盤作業の安全作業及び切削条件、加工方法、段取りなどについて技能を習得します。
NC旋盤作業に従事されている方も、加工までに必要な設定についての根拠を学ぶことができます。

1. 旋盤とは 2. 切削加工の3条件

- (1)切削速度
- (2)送り速度
- (3)切り込み量

3. 旋盤作業

- (1)ハンドル操作
- (2)ギア及びレバー操作

4. 外径段付加工

- (1)端面加工
- (2)荒削り
- (3)中仕上げ削り
- (4)仕上げ削り
- (5)面取り

5. 評価



※「旋盤加工技術（内径加工編）」とセットコースです。連続受講を推奨します。

定 員
8名 P三重
8名 P伊勢

受 講 料
三重13,000円
伊勢13,500円

前提知識

- ・ノギス・マイクロメータによる測定作業ができる方

コース番号	開催日	会場
6M081	4/22(火)、23(水)	P三重
6M082	7/22(火)、23(水)	P三重
6M083	9/29(月)、30(火)	P三重
6M084	2026/1/27(火)、28(水)	P三重
7M061	5/29(木)、30(金)	P伊勢

訓練時間

9:00～16:00

2日 (12時間)

使用機器

(P三重) TAKISAWA : TAL-460

(P伊勢) DMG森精機 : WASINO LEO-80A

工具各種、測定器各種他

持参品

作業服、作業帽、安全靴、保護眼鏡、筆記用具 ※保護眼鏡は貸し出し可能です。

利用者の声

- ・はじめてでもわかりやすく、旋盤技術習得の第一歩としてよかったです。

旋盤加工技術（内径加工編）

P 三重

P 伊勢

訓練内容

旋盤加工作業に従事されている方、これから従事する予定の方を対象としたコースです。
普通旋盤作業の安全作業及び切削条件、加工方法、段取りなどについて技能を習得します。
NC旋盤作業に従事されている方も、加工までに必要な設定についての根拠を学ぶことができます。

1. 外径・端面削り 2. ドリルによる穴あけ

3. 内径加工

- (1)荒削り
- (2)仕上げ削り
- (3)面取り

4. 測定

- (1)外測マイクロメータ
- (2)シリンダゲージ



※「旋盤加工技術（外径加工編）」とセットコースです。連続受講を推奨します。

定 員
8名 P三重
8名 P伊勢

受 講 料
三重10,000円
伊勢13,500円

前提知識

- ・「旋盤加工技術（外径加工編）」とセットコースです

コース番号	開催日	会場
6M091	4/24(木)、25(金)	P三重
6M092	7/24(木)、25(金)	P三重
6M093	10/1(水)、2(木)	P三重
6M094	2026/1/29(木)、30(金)	P三重
7M071	6/5(木)、6(金)	P伊勢

訓練時間

9:00～16:00

2日 (12時間)

使用機器

(P三重) TAKISAWA : TAL-460

(P伊勢) DMG森精機 : WASINO LEO-80A

工具各種、測定器各種他

持参品

作業服、作業帽、安全靴、保護眼鏡、筆記用具 ※保護眼鏡は貸し出し可能です。

利用者の声

- ・旋盤作業を経験できたので客先での営業トークに活かせる。

訓練内容

旋盤加工作業において、要求される精度や加工効率を求められるために必要な技術・技能を技能検定課題を例に使用工具、加工手順、作業時間等の分析を通じて習得します。

課題：技能検定（普通旋盤作業2級相当）

定員	5名	受講料	33,500円
----	----	-----	---------

前提知識	<ul style="list-style-type: none"> ・旋盤加工技術を受講された方、もしくは旋盤加工の経験のある方 ・ノギス、マイクロメータによる測定ができる方
------	--

1. 高精度部品の加工工程

- (1)課題図面の説明
- (2)加工工程の検討
- (3)切削条件の検討
- (4)切削工具の検討
- (5)測定器の選択

2. 精密加工実習

- (1)外径削り
- (2)内径削り
- (3)ねじ切り
- (4)テーパ削り
- (5)4爪による心出し

3. 仕上げ面精度の確認評価

- (1)表面性状について
- (2)表面性状の評価

4. 評価



コース番号	開催日	会場
6M111	11/18(火)、19(水)、 20(木)、21(金)	P三重
訓練時間		
9:00～16:00 4日 (24時間)		
使用機器		
TAKISAWA : TAL-460 工具各種、測定器各種他		
持参品		
作業服、作業帽、安全靴、保護眼鏡(眼鏡可)、 筆記用具 ※保護眼鏡は貸し出し可能です		
利用者の声		
・教わる機会のなかったねじ切りやテーパの加工方法を学ぶことができた。		

よくあるご質問

能力開発セミナーについて

Q4 受講申込書になぜ生年月日を記入する必要があるのですか？

A 所定の要件を満たした方に訓練の修了証書を発行しており、そこに記載するためです。

Q5 コースの概要について聞くことはできますか？

A 詳しい内容についてご質問がございましたら、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

Q6 希望するコースが定員に達している場合はどのようにしたらよいですか？

A 「キャンセル待ち」としてお申し込みを受け付けることが可能ですが。キャンセルにより定員に空きが生じた時点で順次電話またはFAXにてご案内いたします。

お問い合わせ先

ポリテクセンター三重 TEL.059-320-2645 FAX.059-322-2890 E-mail:mie-poly02@jeed.go.jp
ポリテクセンター伊勢 TEL.0596-37-3121 FAX.0596-37-4914

New フライス盤加工技術（六面体加工編）

P三重

訓練内容

機械加工作業または製図作業に従事されている方、これから従事する予定の方を対象としたコースです。

機械加工作業に従事されている方は、フライス盤作業の安全作業及び生産性、品質性の向上のための技術を習得します。

製図作業に従事されている方は、加工を考慮した図面作成、または製品がどのように作られているのかを学ぶことができます。

1. フライス盤とは

2. 切削の3条件

- (1)主軸の回転
- (2)送り速度
- (3)切り込み量

3. フライス盤作業

- (1)機械操作
- (2)正面フライス、エンドミルの特性

4. マシンバイスの取付

5. 正面フライスによる加工

- (1)荒削り
- (2)仕上げ削り

6. 評価



※「フライス盤加工技術（エンドミル加工編）」とセットコースです。連続受講を推奨します。

定員 5名

受講料

17,500円

前提知識

- ・ノギスによる測定作業ができる方

コース番号

開催日

会場

6M121 6/10(火)、11(水)

P三重

6M122 7/1(火)、2(水)

P三重

6M123 11/11(火)、12(水)

P三重

6M124 2026/2/2(月)、3(火)

P三重

訓練時間

9:00～16:00

2日 (12時間)

使用機器

静岡鐵工：SV-WⅡ

工具各種、測定器各種他

持参品

作業服、作業帽、安全靴、保護眼鏡（眼鏡可）、筆記用具 ※保護眼鏡は貸し出し可能です

利用者の声

- ・フライス盤の基礎から細かい内容まで知ることができた。

New フライス盤加工技術（エンドミル加工編）

P三重

訓練内容

機械加工作業または製図作業に従事されている方、これから従事する予定の方を対象としたコースです。

機械加工作業に従事されている方は、フライス盤作業の安全作業及び生産性、品質性の向上のための技術を習得します。

製図作業に従事されている方は、加工を考慮した図面作成、または製品がどのように作られているのかを学ぶことができます。

1. フライス盤作業

- (1)機械操作
- (2)エンドミルの特性

2. エンドミルによる加工

- (1)荒削り
- (2)仕上げ削り

3. 評価



定員 5名

受講料

17,500円

前提知識

- ・「フライス盤加工技術（六面体加工編）」とセットコースです

コース番号

開催日

会場

6M161 6/12(木)、13(金)

P三重

6M162 7/3(木)、4(金)

P三重

6M163 11/13(木)、11/14(金)

P三重

6M164 2026/2/4(水)、5(木)

P三重

訓練時間

9:00～16:00

2日 (12時間)

使用機器

静岡鐵工：SV-WⅡ

工具各種、測定器各種他

持参品

作業服、作業帽、安全靴、保護眼鏡（眼鏡可）、筆記用具 ※保護眼鏡は貸し出し可能です

利用者の声

- ・イメージだけで理解していた部分を実際に経験して補完することができた。

※「フライス盤加工技術（六面体加工編）」とセットコースです。連続受講を推奨します。

New フライス盤加工技術

P 伊勢

訓練内容

機械加工作業または製図作業に従事されている方、これから従事する予定の方を対象としたコースです。
機械加工作業に従事されている方は、フライス盤作業の安全作業及び生産性、品質性の向上のための技術を習得します。
製図作業に従事されている方は、加工を考慮した図面作成、または製品がどのように作られているのかを学ぶことができます。

1. フライス盤とは

2. 切削の3条件

- (1)主軸の回転
- (2)送り速度
- (3)切り込み量

3. フライス盤作業

- (1)機械操作
- (2)正面フライス、エンドミルの特性

4. マシンバイスの取付

5. 正面フライスによる加工

- (1)正面フライスの切削理論
- (2)荒削り
- (3)仕上げ削り

6. エンドミルによる加工

- (1)エンドミルの切削理論
- (2)荒削り
- (3)仕上げ削り

7. 評価



定 員

5名

受講料

19,500円

前提知識

- ・ノギスによる測定作業ができる方

コース番号

開催日

会場

7M121

5/14(水)、15(木)、16(金)

P伊勢

訓練時間

9:00～16:00

3日 (18時間)

使用機器

静岡鐵工：SV-WⅡ

工具各種、測定器各種他

持参品

作業服、作業帽、安全靴、保護眼鏡、筆記用具
※保護眼鏡は貸し出し可能です。

講師からの一言

- ・正面フライスによる六面体加工とエンドミルによる溝加工を座学と実習で実施します。

フライス盤加工応用技術

P 三重

訓練内容

フライス盤加工作業において、要求される精度や加工効率を求めるために必要な技術・技能を技能検定課題を例に使用工具、加工手順等を習得します。
課題：技能検定（フライス盤作業2級相当）

1. 加工要件の検討

- (1)課題図面の説明 (2)加工工程の検討
- (3)切削条件の検討 (4)切削工具の検討
- (5)測定器の選択

2. 精密加工実習

- (1)精密六面体の加工(正面フライス加工)
イ 直角度優先加工 □ 平行度優先加工
- (2)段付削り(エンドミル加工)
- (3)勾配削り(エンドミル加工)

3. 製品評価

- (1)寸法精度
- (2)形状精度
イ 直角度
□ 平行度

4. 評価



定 員

5名

受講料

35,000円

前提知識

- ・フライス盤加工技術を受講された方、もしくはフライス盤加工の経験のある方
- ・ノギス・マイクロメータによる測定ができる方

コース番号

開催日

会場

6M131

10/28(火)、29(水)、
30(木)、31(金)

P三重

訓練時間

9:00～16:00

4日 (24時間)

使用機器

静岡鐵工：SV-WⅡ

工具各種、測定器各種他

持参品

作業服、作業帽、安全靴、保護眼鏡（眼鏡可）、
筆記用具 ※保護眼鏡は貸し出し可能です

利用者の声

- ・勾配の加工など、より専門的な知識を得ることができた。

NC旋盤プログラミング技術

P 伊勢

訓練内容

NC旋盤作業のプログラミングから加工作業において、効率的・経済的な工程や段取りの立案ができる手法をサンプルワークの加工を通して習得します。

1. コース概要及び留意事項
2. 各種機能とプログラム作成方法
 - (1)主軸・送り・工具・準備・補助機能
 - (2)荒加工用プログラム作成方法及び注意点
 - (3)仕上げ加工用プログラム作成方法及び注意点
 - (4)ノーズR補正
 - (5)固定サイクル
3. プログラミング課題実習
 - (1)課題提示および注意点
 - (2)加工工程の検討
 - (3)プログラミング
4. 加工の検証と評価
 - (1)加工作業の確認と検討
 - (2)作業、工程の課題発見と着眼点
 - (3)改善策とその検証
5. まとめ



定 員	10名	受 講 料	20,000円
-----	-----	-------	---------

前提知識
• 加工図面が読める方
• 旋削に関する基礎知識を有する方

コース番号	開催日	会場
7M081	7/1(火)、2(水)、3(木)、4(金)	P伊勢

訓練時間
9:00～16:00
4日 (24時間)

使用機器
TAKISAWA : TCN-2000L6(FANUC 32i-B)
工具各種、測定器各種他

持参品
作業着、作業帽、安全靴、保護眼鏡、筆記用具、関数電卓 ※保護眼鏡は貸し出し可能です。

利用者の声
• プログラムについて無知だった為、知識を付ける良い機会になった。
• 触った事が有る程度だったので簡単なプログラムなら組めるようになった。
• 会社の生産品向上に貢献出来ると思う。

NC旋盤加工技術

P 三重

訓練内容

機械加工作業または製図作業に従事されている方、これから従事する予定の方を対象としたコースです。
機械加工作業に従事されている方は、マニュアルプログラミング手法(FANUC)を理解し、機械の設定から加工まで実習を通して、安全作業及び生産性、品質の向上のための技術を習得します。
製図作業に従事されている方は、加工を考慮した図面作成、または製品がどのように作られているのかを学ぶことができます。

1. NC旋盤とは
2. 座標系
3. プログラミング手法
 - (1)動作プログラム
 - (2)刃先R補正
 - (3)複合形固定サイクル
4. 機械設定
 - (1)工具補正
 - (2)ワーク補正
5. 加工実習
 - (1)プログラムの作成
 - (2)加工作業
6. 評価



定 員	6名	受 講 料	22,500円
-----	----	-------	---------

前提知識
• 特になし

コース番号	開催日	会場
6M141	5/7(水)、8(木)、9(金)	P三重
6M142	10/8(水)、9(木)、10(金)	P三重

訓練時間
9:00～16:00
3日 (18時間)

使用機器
TAKISAWA : TCN-2000L6(FANUC 32i-A)
工具各種、測定器各種他

持参品
作業帽、作業着、安全靴、筆記用具、保護眼鏡（眼鏡可）※保護眼鏡は貸し出し可能です。

利用者の声
• 機械の操作やプログラミングのどちらも詳しく説明があってわかりやすかった。

マシニングセンタプログラミング技術

P 伊勢

訓練内容

マシニングセンタ作業のプログラミングから加工作業において、効率的・経済的な工程や段取りの立案ができる手法をサンプルワークの加工を通して習得します。

1. コース概要及び留意事項

- (1)コースの目的
- (2)専門的能力の現状確認
- (3)安全上の留意事項

2. 各種機能とプログラミング作成方法

- (1)主軸・送り・工具・準備・補助機能
- (2)機械座標系とワーク座標系
- (3)工具長オフセットと工具径オフセット及び注意事項
- (4)サブプログラム
- (5)固定サイクル
- (6)プログラムパターン

3. プログラミング課題実習

※課題では正面フライス加工・エンドミル加工・穴加工を行います。



4. 加工の検証と評価

- (1)加工作業の確認と検討
- (2)作業、工程の課題発見と着眼点
- (3)改善策とその検証

5. まとめ

定 員	10名	受 講 料	20,000円
-----	-----	-------	---------

前提知識	・加工図面が読める方 ・切削に関する基礎知識を有する方
------	--------------------------------

コース番号	開催日	会場
7M091	9/16(火)、17(水)、 18(木)、19(金)	P伊勢

訓練時間
9:00～16:00
4日 (24時間)

使用機器
DMG森精機 NVX5060Ⅱ (三菱電機 M750BM) 工具各種、測定器各種他

持参品
作業帽、保護眼鏡、筆記用具、関数電卓 ※保護眼鏡は貸し出し可能です。

利用者の声
・固定サイクルや、そのプログラムでどんなエラーになるかを知れて、とても有意義だった。

機械系

マシニングセンタ加工技術

P 三重

訓練内容

機械加工作業または製図作業に従事されている方、これから従事する予定の方を対象としたコースです。
機械加工作業に従事されている方は、マニュアルプログラミング手法(FANUC)を理解し、機械の設定から加工まで実習を通して、安全作業及び生産性、品質の向上のための技術を習得します。
製図作業に従事されている方は、加工を考慮した図面作成、または製品がどのように作られているのかを学ぶことができます。

1. マシニングセンタとは

2. 座標系

3. プログラミング手法

- (1)動作プログラム
- (2)工具径補正
- (3)工具長補正
- (4)固定サイクル

4. 機械設定

- (1)工具補正
- (2)ワーク補正

5. 加工実習

- (1)プログラムの作成
- (2)加工作業
(FANUCからOSPのプログラムに変換)

6. 評価



定 員	6名	受 講 料	26,000円
-----	----	-------	---------

前提知識	・特になし
------	-------

コース番号	開催日	会場
6M151	6/18(水)、19(木)、20(金)	P三重
6M152	2026/2/10(火)、12(木)、13(金)	P三重

訓練時間
9:00～16:00 3日 (18時間)

使用機器
OKUMA : MB-46VA (OSP-P200M) 工具各種、測定器各種他

持参品
作業帽、作業着、安全靴、筆記用具、保護眼鏡（眼鏡可）※保護眼鏡は貸し出し可能です。

利用者の声
・プログラムは詳しく知らなかったが、内容を学べたので加工の時にどのようなプログラムかを理解できるようになった。

TIG溶接技能クリニック

P三重

訓練内容

溶接関連職種に従事されている方を対象に、ステンレス鋼、アルミニウム合金のすみ肉溶接や突合せのTIG溶接を行い、適正なTIG溶接施工に関する技能と実際に起こりうる品質上の問題点の把握および解決手法を習得します。

1. TIG溶接概要、溶接棒・タンクスティン電極・極性の選択

2. 溶接実習

- (1)溶接条件、トーチ操作、溶融池制御
- (2)各種溶接姿勢での溶接条件
- (3)ストリッガービード、ウェーピングビード、クレータ処理、タック溶接
- (4)水平すみ肉溶接、各種突合せ溶接

3. 評価と問題解決法

- (1)製品の評価方法
- (2)各種溶接部の試験・検査
- (3)問題点の把握、解決方法

4. まとめ、質疑応答



定員 10名

受講料

13,500円

前提知識

- ・アーク溶接の危険性が理解でき、TIG溶接機の取扱いができること

コース番号

開催日

会場

6M251 7/16(水)、17(木)

P三重

6M252 9/9(火)、10(水)

P三重

訓練時間

9:00～16:00

2日 (12時間)

使用機器

TIG溶接機

(ダイヘン：AVP-300)

(パナソニック：YC-300WX4)

持参品

作業服（長袖）、作業帽、安全靴、溶接保護具一式、筆記用具

利用者の声

- ・職場で教えてもらえる人がいなかったので今後につながる。

TIG溶接技能クリニック（各種姿勢編）

P三重

訓練内容

溶接加工の現場力強化及び技能継承をめざして、現在の習熟度を確認し、技能高度化に向けたTIG溶接作業の各種継手の溶接実習を通して、適正な溶接施工に関する技能と実際に起こりうる品質上の問題点の把握及び解決手法を習得します。

1. TIG溶接概要、溶接棒・タンクスティン電極・極性の選択

2. 溶接実習

- (1)溶接条件、トーチ操作、溶融池制御
- (2)各種溶接姿勢の考察
- (3)ストリッガービード、ウェーピングビード、クレータ処理、タック溶接
- (4)各種姿勢の突合せ溶接・裏波溶接

3. 評価と問題解決法

- (1)製品の評価方法
- (2)各種溶接部の試験・検査
- (3)問題点の把握、解決方法

4. まとめ、質疑応答



定員 10名

受講料

13,500円

前提知識

- ・アーク溶接の危険性が理解でき、TIG溶接機の取扱いができること

コース番号

開催日

会場

6M261 11/26(水)、27(木)

P三重

訓練時間

9:00～16:00

2日 (12時間)

使用機器

TIG溶接機

(ダイヘン：AVP-300)

(パナソニック：YC-300WX4)

持参品

作業服（長袖）、作業帽、安全靴、溶接保護具一式、筆記用具

利用者の声

- ・基本級しか資格を持っていないため、技術面で役に立ちました。

ステンレス鋼のTIG溶接技能クリニック

P 伊勢

訓練内容

溶接関連職種に従事されている方を対象に、ステンレス鋼のTIG溶接作業の各種継手の溶接実習を行い、適正なTIG溶接施工に関する技能と実際に起こりうる品質上の問題点の把握および解決手法を習得します。

1. コース概要及び留意事項

- (1)訓練の目的
- (2)専門的能力の現状確認
- (3)問題点の整理
- (4)安全上の留意事項

2. ステンレス鋼のTIG溶接

- (1)直流TIG溶接法と機器
- (2)溶接材料
- (3)溶接施工実務

3. 溶接施工実習

- (1)要求に応じた溶接施工

4. 品質の問題把握と解決手法

- (1)製品の評価方法
- (2)技量の診断
- (3)問題点の把握、解決手法

5. まとめ

- (1)成果発表後の全体的な講評及び確認・評価



定員 10名

受講料

12,000円

前提知識

- ・アーク溶接の危険性が理解でき、TIG溶接機の取扱いができること

コース番号

開催日

会場

7M531

6/25(水)、26(木)

P 伊勢

7M532

10/28(火)、29(水)

P 伊勢

訓練時間

9:00～16:00

2日 (12時間)

使用機器

TIG溶接機

(パナソニック : YC-300BP2)

持参品

作業服（長袖）、作業帽、安全靴、溶接保護具一式、筆記用具

利用者の声

- ・自身のスキルアップになる話、体験をさせていただきました。
- ・今後機会が有りましたら又、お世話になりたいです。

パルスTIG溶接実践技術

P 伊勢

訓練内容

外観向上、低入熱化などTIG溶接作業の効率化にむけて、パルス機能の活用法を習得し、自ら溶接条件の検討・決定を行い施工できる技術・知識を習得します。

1. コース概要及び留意事項

- (1)訓練の目的 (2)専門的能力の現状確認
- (3)問題点の整理 (4)安全上の留意事項

2. TIG溶接の付加価値技術

- (1)TIG溶接法と機器 (2)母材材質に応じた各種TIG溶接法
- (3)各材料におけるパルスの優位性 (4)パルスTIG溶接法

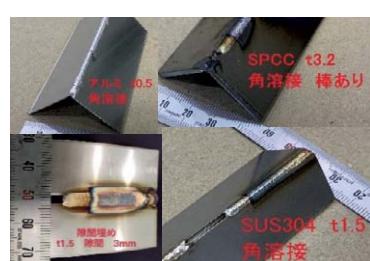
3. パルスTIG溶接施工実習

- (1)各種材料、継手の溶接
- (2)パルス溶接の優位性検証(パルス有り、無しの比較)

4. 品質の問題把握と解決手法

- (1)溶接品質に及ぼす諸因子の影響 (2)溶接欠陥の原因と対策
- (3)製品の評価方法 (4)溶接作業者に対する技術的指導・育成方法

5. まとめ



定員 10名

受講料

15,500円

前提知識

- ・アーク溶接作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

コース番号

開催日

会場

7M561

4/23(水)、24(木)

P 伊勢

訓練時間

9:00～16:00

2日 (12時間)

使用機器

TIG溶接機

持参品

筆記用具、長袖作業服上下、安全靴、作業帽

講師からの一言

- ・ひずみの低減に役立つ内容だった。
- ・今まで感覚的に教わってきたためロジカルに理解できた。

半自動アーク溶接技能クリニック

P 三重

P 伊勢

訓練内容

溶接関連職種に従事されている方を対象に、半自動アーク溶接作業の各種姿勢によるすみ肉、突合せ溶接実習を通して、適正な半自動アーク溶接施工に関する技能と実際に起こりうる品質上の問題点の把握および解決手法を習得します。

1. コース概要及び留意事項

- (1)訓練の目的
- (2)専門的能力の現状確認
- (3)問題点の整理
- (4)安全上の留意事項

2. 半自動アーク溶接

- (1)半自動アーク溶接法と機器
- (2)溶接材料
- (3)溶接施工実務



3. 溶接施工実習

- (1)要求に応じた溶接施工

4. 評価と問題解決法

- (1)製品の評価方法
- (2)施工技術
- (3)問題点の把握、解決手法

5. まとめ



定 員 10名

受 講 料

12,000円

前提知識

- ・アーク溶接の危険性が理解でき、半自動アーク溶接機の取扱いができること

コース番号

開催日

会場

6M231

5/13(火)、14(水)

P三重

6M232

11/11(火)、12(水)

P三重

7M521

5/21(水)、22(木)

P伊勢

7M522

11/5(水)、6(木)

P伊勢

訓練時間

9:00～16:00

2日 (12時間)

使用機器

CO2/MAG溶接機

(ダイヘン : CPV-350、DM-350、WB-M350L)

(パナソニック : YD-350GR3、YD-350GV4)

持参品

作業服（長袖）、作業帽（ヘルメット可）、
安全靴、溶接保護具一式、工具等

利用者の声

- ・親切にアドバイスを受けたことが良かった。初心者に合わせて基礎からやってくれたことが嬉しかった。

半自動アーク溶接技能クリニック（各種姿勢編）

P 三重

訓練内容

溶接加工の現場力強化及び技能継承をめざして、現在の習熟度を確認し、技能高度化に向けた半自動アーク溶接作業の各種姿勢の溶接実習等を通して、適切な半自動アーク溶接施工に関する技能と実際に起こりうる品質上の問題点の把握及び解決手法を習得します。

定 員 10名

受 講 料

12,000円

前提知識

- ・アーク溶接の危険性が理解でき、半自動アーク溶接機の取扱いができること

1. 溶接の種類、半自動アーク溶接の特徴、溶接電流・電圧の調整

2. 溶接実習

- (1)溶接条件、トーチ操作、
溶融池制御
- (2)各種溶接姿勢の考察
- (3)ストリンガービード、
ウェービングビード、
フレータ処理、タック溶接
- (4)各種姿勢の突合せ溶接・裏波溶接



3. 評価と問題解決法

- (1)製品の評価方法
- (2)各種溶接部の試験・検査
- (3)問題点の把握、解決方法

4. まとめ、質疑応答



コース番号

開催日

会場

6M241

2026/1/27(火)、28(水)

P三重

訓練時間

9:00～16:00

2日 (12時間)

使用機器

CO2/MAG溶接機

(ダイヘン : CPV-350、DM-350、WB-M350L)

(パナソニック : YD-350GR3、YD-350GV4)

持参品

作業服（長袖）、作業帽（ヘルメット可）、
安全靴、溶接保護具一式、工具等

利用者の声

- ・以前の作業者からOJTの形で技術を引き継いできたが理論的な裏打ちを得ることができた。

被覆アーク溶接技能クリニック

P 三重

P 伊勢

訓練内容

溶接関連職種に従事されている方を対象に、被覆アーク溶接作業の各種姿勢によるすみ肉、突合せ溶接実習を通して、適正な被覆アーク溶接施工に関する技能と実際に起こりうる品質上の問題点の把握および解決手法を習得します。

1. コース概要及び留意事項

- (1)訓練の目的
- (2)専門的能力の現状確認
- (3)問題点の整理
- (4)安全上の留意事項

2. 被覆アーク溶接

- (1)被覆アーク溶接法と機器
- (2)被覆アーク溶接棒
- (3)溶接施工実務

3. 溶接施工実習

- (1)要求に応じた溶接施工

4. 評価と問題解決法

- (1)製品の評価方法
- (2)施工技術
- (3)問題点の把握、解決手法

5. まとめ



定 員 10名

受 講 料

12,000円

前提知識

- ・アーク溶接の危険性が理解でき、被覆アーク溶接機の取扱いができること

コース番号

開催日

会場

6M211	6/17(火)、18(水)	P三重
6M212	12/9(火)、10(水)	P三重
7M511	7/2(水)、3(木)	P伊勢
7M512	2026/2/3(火)、4(水)	P伊勢

訓練時間

9:00～16:00

2日 (12時間)

使用機器

交流アーク溶接機
(ダイヘン : KZA-300)
(パナソニック : YK-306GL-3)

持参品

作業服（長袖）、作業帽、安全靴、溶接保護具一式、筆記用具

利用者の声

- ・講師の指導が的確でわかりやすかった。
- ・普段溶接しないため役立った。

被覆アーク溶接技能クリニック（各種姿勢編）

P 三重

訓練内容

溶接加工の現場力強化及び技能継承をめざして、現在の習熟度を確認し、技能高度化に向けた被覆アーク溶接作業の各種姿勢の溶接実習等を通して、適切な被覆アーク溶接施工に関する技能と実際に起こりうる品質上の問題点の把握及び解決手法を習得します。

定員

10名

受講料

12,000円

前提知識

- ・アーク溶接の危険性が理解でき、被覆アーク溶接機の取扱いができること

1. 溶接の種類、溶接法の長所・短所、各種溶接棒の特徴

2. 溶接実習

- (1)溶接条件、溶融スラグの制御、運棒角度と各種溶接棒
- (2)各種溶接姿勢の考察
- (3)ストリッガービード、ウェーピングビード、ビード継ぎ、クレータ処理
- (4)各種姿勢の突合せ溶接・裏波溶接

3. 評価と問題解決

- (1)製品の評価方法
- (2)各種溶接部の試験・検査
- (3)問題点の把握、解決方法

4. 質疑応答



コース番号

開催日

会場

6M221	8/28(木)、29(金)	P三重
-------	---------------	-----

訓練時間

9:00～16:00

2日 (12時間)

使用機器

交流アーク溶接機
(ダイヘン : KZA-300)
(パナソニック : YK-306GL-3)

持参品

作業服（長袖）、作業帽、安全靴、溶接保護具一式、筆記用具

利用者の声

- ・専門的な知識が深まり、今後仕事での技術に自信が持てた。

New 機械材料の特性と選定技術

P 伊勢

訓練内容

製品製造における設計及び加工工程の生産性の向上をめざして、適正化に向けた金属材料の加工実習と材料試験を通して、製品要求に対する適正な材料の選定や加工条件が選定できる技術を習得する。

定 員	10名	受 講 料	14,500円
-----	-----	-------	---------

前提知識	・自社で扱っている金属材料の種類や特徴を知っている
------	---------------------------

1. コース概要および留意事項

(1)訓練の目的およびコース概要 (2)専門的能力の確認

2. 金属材料概論

(1)金属の定義と分類 (2)金属の結晶と構造 (3)鋼の結晶と組織

3. 金属の性質

(1)物理的性質と機械的性質 (2)破壊試験

4. 金属材料と過去の事故事例

(1)過去の事故事例とポイント

5. 金属材料の選び方

(1)一般鋼及び特殊鋼 (2)ステンレス鋼 (3)アルミニウム合金

6. 腐食とその対策

(1)腐食のメカニズム (2)腐食対策

7. 加工と材料特性

(1)金属材料と各種加工技術における注意点

(切削加工性、曲げ加工性、溶接性)

(2)金属材料の熱処理

8. まとめ、質疑応答

コース番号	開催日	会場
7M571	10/21(火)、22(水)	P伊勢

訓練時間

9:00～16:00

2日 (12時間)

使用機器

万能材料試験機、硬さ試験機、シャルピー衝撃試験機、機械工作機器等

持参品

作業服(上)、作業帽

講師からの一言

・座学のみではなく、実際に触ったり、破壊したり感覚的にも学んでもらうよう実験を踏まえた講座となっております。在学中に金属材料について学んでない方、材料に起因するトラブルで困っている方、もう一度学びなおししたい方にお勧めです。

ろう付技能クリニック



P 伊勢

訓練内容

溶接関連職種に従事されている方を対象に、各種材料における適正なろう付施工に関する技能と、実際に起こりうる品質上の問題点の把握および解決手法を習得します。

定 員	10名	受 講 料	13,500円
-----	-----	-------	---------

前提知識	・ろう付に関する基礎知識を有することが望ましい
------	-------------------------

1. ろう付の原理と特徴、種類、ろう材

2. 各種材料のろう付実習

(1)ろう付施工計画

(2)各種ろう材による施工(銀ろう、真鍮ろう、アルミろう等)

(3)各種材料に対する施工(鋼、ステンレス鋼、真鍮、銅、アルミニウム)

3. 評価と問題解決法

(1)製品の評価方法

(2)各種溶接部の試験・検査

(3)問題点の把握、解決方法

4. まとめ、質疑応答



コース番号	開催日	会場
7M541	8/21(木)、22(金)	P伊勢

訓練時間

9:00～16:00

2日 (12時間)

使用機器

ガス溶接装置

持参品

作業服(長袖)、作業帽、安全靴、溶接保護具一式、筆記用具

利用者の声

・今まで何となくやっていた作業を理論的に理解することで、意味を持って作業できる。
・試作業務の幅が広がると思います。

設計・施工管理に活かす溶接技術

P 伊勢

訓練内容

座学による溶接関連知識の習得、及び溶接の実体験を通じて溶接技術の要点を理解し、適切な設計、溶接指示、トラブル対処、品質改善などができる技術を習得します。

1. コース概要及び留意事項
2. 溶接法および溶接機器
3. 金属材料の溶接性、溶接部の特徴
4. 溶接構造の力学と設計
5. 設計、技術者視点の溶接施工と問題解決法
6. 各種溶接法、継手形状の溶接実習/簡易破壊試験
- 7.まとめ



十字すみ肉継手引張試験



溶接部マクロ試験

定 員 10名

受 講 料

15,000円

前提知識

- ・溶接した製品を見たことがある
- ・基本的な溶接記号の読解がある程度できる

コース番号	開催日	会場
7M551	10/23(木)、24(金)	P伊勢

訓練時間

9:00～16:00
2日 (12時間)

使用機器

半自動アーク溶接機、
TIG溶接機、各種試験機

持参品

溶接保護具一式、作業服上下、帽子、
安全靴、関数電卓

利用者の声

- ・業務に直接役に立てる内容でとても良かったと思います。
- ・今まで、なんとなく知っていた事について、くわしく教えていただいたため。

New 設計・施工管理に活かす溶接技術（学科オンライン）

P 三重

訓練内容

オンラインの座学による溶接関連知識の習得、及び溶接の実体験を通じて溶接技術の要点を理解し、適切な設計、溶接指示、トラブル対処、品質改善などができる技術を習得します。
なお、オンライン学科は高度ポリテクセンターの指導員が、実技講習はポリテクセンター三重の指導員が担当します。

1. コース概要及び留意事項
2. 溶接法および溶接機器
3. 金属材料の溶接性、溶接部の特徴
4. 溶接構造の力学と設計
5. 設計、技術者視点の溶接施工と問題解決法
6. 各種溶接法、継手形状の溶接実習/簡易破壊試験
- 7.まとめ



十字すみ肉継手引張試験



溶接部マクロ試験

定 員 12名

受 講 料

15,000円

前提知識

- ・溶接した製品を見たことがある
- ・基本的な溶接記号の読解がある程度できる

コース番号	開催日	会場
6M271	Web : 6/16(月)、17(火) 実技 : 30(月)	P三重
6M272	Web : 2026/1/14(水)、1/15(木) 実技 : 26(月)	P三重

訓練時間

1日目 Web : 13:00～16:30
2日目 Web : 10:00～16:30
3日目 実技 : 9:00～16:00 計3日(15時間)

使用機器

半自動アーク溶接機、被覆アーク溶接機
TIG溶接機、各種試験機

持参品

溶接保護具一式、作業服上下、帽子、安全靴、関数電卓、オンライン用PC(Teamsインストール済)

利用者の声

- ・溶接補修等の際に電気屋と円滑に話を進める事が出来ると思う。
- ・初めて理論的な裏付けを受けられた。

New 抵抗スポット溶接実践技術（学科オンライン）

P三重

訓練内容

溶接加工の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化、故障対応・予防に向けた各種材料の抵抗スポット溶接実習、破壊試験実習を通して、溶接品質トラブルの対応と予防法、安定した品質を確保するための抵抗スポット溶接の技能と技術を習得する。
なお、オンライン学科は高度ポリテクセンターの指導員が、実技講習はポリテクセンター三重の指導員が担当します。

1. コース概要及び留意事項
2. 抵抗スポット溶接の構成概要
3. ナゲットの形成と品質
4. 各種材料の溶接と評価実習
5. 溶接欠陥とその対策及び品質管理
6. まとめ



定 員 12名 受 講 料 12,000円

前提知識 • 抵抗スポット溶接作業に従事しており、溶接加工に関する基礎知識を有すること

コース番号	開催日	会場
6M281	Web : 6/25(水) 実技 : 7/2(水)	P三重

訓練時間
1日目 Web : 10:00~16:00
2日目 実技 : 9:00~17:00 計2日 (12時間)

使用機器
スポット溶接機 (YR-350SA)、引張試験機

持参品
溶接保護具一式、作業服上下、帽子、安全靴、関数電卓、オンライン用PC (Teamsインストール済)

講師からの一言
• 様々な条件で溶接したテストピースに引張試験を実施することで溶接条件の最適化を行います。

よくあるご質問

能力開発セミナーについて

Q7 申し込んだコースが中止になることはありますか？

A やむを得ず日程変更又は中止する場合がありますので、予めご了承ください。その際はご連絡いたします。

Q8 申し込んだコースをキャンセルしたいのですがどのようにしたらよいですか？

A 申し込み締め切り日までに書面にてご連絡ください。お申し込みコースの締め切り日を過ぎてのキャンセルは受講料を返金できません。また、このとき受講料が未納の場合は納付していただきます。

※セミナー受講申込み手続きのご案内 (P65) をご覧下さい。

Q9 申し込んだコースを欠席する場合はどのようにしたらよいですか？

A お電話、FAX、またはE-mailにてご連絡ください。

お問い合わせ先

ポリテクセンター三重 TEL.059-320-2645 FAX.059-322-2890 E-mail:mie-poly02@jeed.go.jp
ポリテクセンター伊勢 TEL.0596-37-3121 FAX.0596-37-4914

基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術

P 伊勢

訓練内容

鉛フリーはんだを使用した手はんだ付け作業における鉛フリー化による問題の解決と品質向上をめざして、鉛フリーはんだ付け作業の実践技術・管理技術を習得します。

1. 鉛フリー化
2. 手はんだ付けの科学知識
3. 鉛フリー手はんだ付けの課題
4. 鉛フリー手はんだ作業のポイント
5. 鉛フリー手はんだ付け実習



定 員

10名

受 講 料

11,000円

前提知識

- はんだ付けを行ったことがある方

コース番号

7E011

開催日

6/10(火)、11(水)

会場

P伊勢

訓練時間

9:00～16:00
2日 (12時間)

使用機器

温度コントローラ付はんだこて、工具一式、ルーペ

持参品

ノート、筆記用具

利用者の声

- 具体的な作業方法など、大変役立ちました。

New 基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術〈表面実装編〉

P 三重

訓練内容

鉛フリーはんだを使用した手はんだ付け作業における問題の解決と品質向上をめざして、鉛フリーはんだ付け作業の実践技術・評価技術を習得します。

1. 鉛フリー化の必要性
 - 環境問題と法規制
2. 手はんだ付けの科学的知識
 - はんだ実装の最適条件
 - フラックスの役目、ぬれ性
3. 鉛フリー手はんだ作業のポイント
 - 温度管理の必要性
 - はんだこての選定、こて先の寿命対策
 - はんだ付けの手順、修正方法
 - はんだ付けの良否判定、品質保証
4. 鉛フリー手はんだ付け実習
 - 基板挿入部品 抵抗 コンデンサ
デジタルIC(DIP-14P)
ワイヤ(AWG20)、すずめっき線(Φ0.6)
 - 表面実装部品 チップ抵抗(3225、3216、2012)
表面実装IC(SOP-14P)



定 員

10名

受 講 料

15,000円

前提知識

- これから鉛フリーはんだ技術について学ばれる方

コース番号

6D211

開催日

9/2(火)、3(水)

会場

P三重

訓練時間

9:00～16:00
2日 (12時間)

使用機器

温度コントローラ付はんだこて、工具一式、基板挿入部品、表面実装部品、練習基板

持参品

ノート、筆記用具

講師からの一言

- 表面実装部品（チップ部品やSOP部品）などのはんだ付けを学びたい方に最適なコースです。

※材料（チップ抵抗など）については、コストおよび入手難度によりサイズが変更になることもあります。

現場のための電気保全技術（電気保全実務編）

P 三重

訓練内容

これから電気保全を担当する方を対象に、低圧電気設備において機器の故障や劣化、測定試験、電気保全に関する技術について実践課題実習を通じて習得します。電気保全実践課題は、故障している模擬電気設備実習装置をトラブル現象に対応した測定器を用いて、故障箇所を特定する実習です。

1. 電気災害と対応策

- (1)感電の人体反応と対応策(接地の種類)
- (2)短絡電流と遮断器
- (3)漏電と絶縁抵抗の管理
- (4)電動機とその過負荷対策

2. 測定器の取り扱い

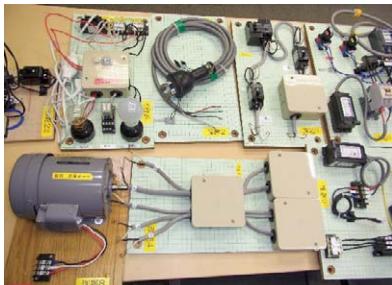
- (1)検電器
- (2)回路計
- (3)絶縁抵抗計
- (4)クランプメータ

3. トラブルとその対策

- (1)シーケンス回路の使用機器の構成
- (2)トラブル原因推察
- (3)測定器を使用した回路確認(回路計、クランプメータ、絶縁抵抗計)

4. 電気保全実践課題

- (1)機器選定実習
(ケーブル選定、遮断器選定)
- (2)測定検査実習(絶縁抵抗計、
負荷電流測定、漏れ電流測定)
- (3)制御回路の回路検査、および
不良箇所の発見実習



定 員

12名

受 講 料

15,000円

前提知識

- ・本コースは、これから電気設備技術について学ばれる方のベースとなるコースです

コース番号

開催日

会場

6D011	5/28(水)、29(木)	P三重
6D012	7/29(火)、30(水)	P三重
6D013	9/24(水)、25(木)	P三重
6D014	12/1(月)、2(火)	P三重
6D015	2026/1/14(水)、15(木)	P三重

訓練時間

9:00～16:00

2日 (12時間)

使用機器

回路計、絶縁抵抗計、クランプメータ、配線用遮断器、漏電遮断器、変流器、電磁接触器、サーマルリレー、その他

持参品

筆記用具

利用者の声

- ・今後電気設備の保全があり、テスタ等の機器の使用方法が理解でき良かった。
- ・故障解析等に役立てる。

有接点シーケンス制御の実践技術

P 伊勢

訓練内容

有接点リレーシーケンス制御における各種制御機器や各種制御回路を理解し、配線作業・回路チェック方法について実習を通して習得します。

1. 概要

- (1)有接点シーケンス制御の概要
- (2)電気用記号、機器記号、機能記号

2. 各種制御機器の種類

- (1)スイッチ、表示灯、配線用遮断器
- (2)電磁継電器、タイマ、電磁接触器、サーマルリレー

3. 各種制御回路

- (1)タイムチャート
- (2)ON-OFF回路
- (3)AND・OR回路
- (4)自己保持回路
- (5)インターロック回路
- (6)順次回路

4. タイマ回路

- (1)遅延動作回路
- (2)一定時間動作回路

5. 主回路

- (1)三相誘導機運転回路
- (直入れ始動)

6. 実習

- (1)配線作業、点検及び試運転



定 員

10名

受 講 料

8,000円

前提知識

- ・回路計（テスタ）を使用できる方

コース番号

開催日

会場

7E021	6/24(火)、25(水)	P伊勢
7E022	12/16(火)、17(水)	P伊勢

訓練時間

9:00～16:00

2日 (12時間)

使用機器

電磁接触器、電磁継電器、サーマルリレー、
スイッチ、表示灯、配線用遮断器、
三相誘導電動機、その他

持参品

ノート、筆記用具

利用者の声

- ・知識の復習と新たに得たことで保全に役立てると思った。

Renew 有接点シーケンス制御の実践技術 <制御回路配線編>

P三重

訓練内容

有接点リレーシーケンス制御の概要から始まり、リレーをはじめとした各種制御機器や各種制御回路を理解し、配線作業・回路チェック方法について実習を通して習得します。

(P37のポリテク伊勢で開催される有接点制御コース(2日間)をポリテク三重では《制御回路配線編》と《モータ活用編》の合計4日間で、実習項目を増やして実施しています。)

1. 概要

- (1) 有接点シーケンス制御の概要
- (2) 電気用図記号、機器記号、機能記号など

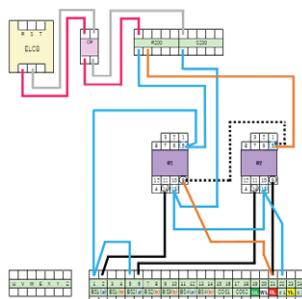


2. 各種制御機器の種類

- (1) スイッチ、表示灯、配線用遮断器
- (2) 電磁継電器、タイマ

3. 各種制御回路

- (1) タイムチャート
- (2) ON-OFF回路
- (3) AND・OR回路
- (4) 自己保持回路
- (5) インターロック回路
- (6) 順次回路



4. タイマ回路

- (1) 遅延動作回路
- (2) 一定時間動作回路
- (3) フリッカ回路

5. 実習

- (1) 配線作業、点検及び試運転

定員 12名

受講料

10,000円

前提知識

- ・回路計（テスター）を使用できる方

コース番号	開催日	会場
6D021	6/4(水)、5(木)	P三重
6D022	8/4(月)、5(火)	P三重
6D023	10/16(木)、17(金)	P三重
6D024	12/11(木)、12(金)	P三重

訓練時間

9:00～16:00

2日 (12時間)

使用機器

当センター実習用制御盤 (200V)、各種負荷装置 (表示灯)、各種測定器 (テスター)

持参品

筆記用具

講師からの一言

- ・内容をリニューアルしました。これから有接点シーケンス制御技術を学ばれる方向けのコースになります。

Renew シーケンス制御による電動機制御技術 <モータ活用編>

P三重

訓練内容

電動機の種類、構造、回転原理からはじまり、電動機回路の機器構成、電動機運転における始動電流などによるトラブルや、有接点シーケンス制御技術によるモータ制御（可逆運転、Y-△始動など）を実習課題を通して習得します。

(P37のポリテク伊勢で開催される有接点制御コース(2日間)をポリテク三重では《制御回路配線編》と《モータ活用編》の合計4日間で、実習項目を増やして実施しています。)

1. 電動機の概要

- (1) 電動機の種類
- (2) 電動機の構造と回転原理

2. 電動機回路の構成

- (1) スイッチ、表示灯、配線用遮断器
- (2) 電磁継電器、タイマ、電磁接触器、サーマルリレー

3. シーケンス図

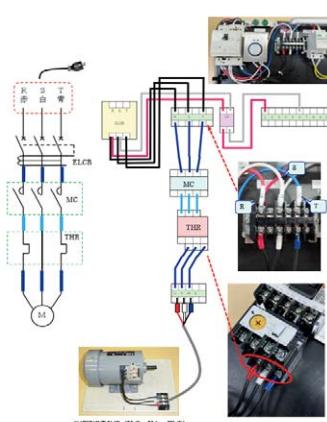
- (1) 主回路と制御回路
- (2) タイムチャート

4. 三相誘導電動機の始動方法

- (1) 直入れ始動回路
- (2) リアクトル始動回路
- (3) 始動補償器法回路
- (4) Y-△始動回路

5. 電動機制御回路の実習課題

- (1) 連続運転回路
- (2) 寸動運転回路
- (3) 遅延動作回路
- (4) 可逆運転回路
- (5) Y-△始動回路



定員 10名

受講料

14,000円

前提知識

- ・「有接点シーケンス制御の実践技術」を受講された方、または同等の知識をお持ちの方

コース番号	開催日	会場
6D031	8/7(木)、8(金)	P三重
6D032	2026/2/9(月)、10(火)	P三重

訓練時間

9:00～16:00

2日 (12時間)

使用機器

当センター実習用制御盤 (200V)、各種負荷装置 (表示灯、三相誘導電動機)、各種測定器 (回転計、検相器など)

持参品

筆記用具

講師からの一言

- ・内容をリニューアルしました。これから有接点シーケンス制御を用いた三相誘導電動機の制御技術を学ばれる方向けのコースになります。

制御盤製作技術



P三重

訓練内容

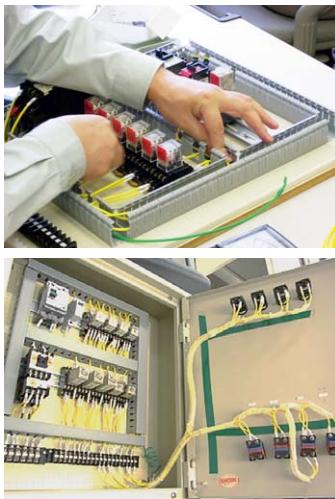
実際の制御盤を使用しての主回路・制御回路の組立てとその実務作業を通して、制御盤に関するシーケンス制御回路の設計及び制御盤内の配線手法を習得します。(制御盤の製作実習では、部品の配置や配線設計法、配線手順保全の仕方など、やってはいけない注意点や効率的な作業の仕方について学びます。)

1. 概要

- (1)シーケンス制御の概要 (2)安全上の留意事項

2. 制御回路設計

- (1)電動機を負荷とした制御回路設計について
(2)タイムチャートによる動作解析

**3. 配線設計**

- (1)端子番号、線番号、部品配置について
(2)部品表、配線表、線番号表について
(3)配線設計法

4. 総合実習

- (1)制御盤の製作実習
(2)制御回路の組立ての留意事項
(3)制御回路設計
(4)盤加工
(5)配線設計
(6)制御盤組立て実習
(7)回路の点検と試運転、メンテナンス

5. まとめ

定員

10名

受講料

17,000円

前提知識

- ・「有接点シーケンス制御の実践技術」を受講された方、または同等の知識をお持ちの方

コース番号

開催日

会場

6D041

11/18(火)、19(水)、20(木)

P三重

訓練時間

9:00～16:00
3日 (18時間)

使用機器

実習用制御盤、テスタ、工具一式、制御用機器一式(電磁接触器、補助リレー、スイッチ、表示灯、サーマルリレー、端子台、ダクト他)

持参品

筆記用具

利用者の声

- ・制御盤の製作における作業や配線作業のポイントを知ることができたので非常に勉強になりました。

保護継電器の評価と保護協調〈高圧受変電設備の保守技術〉

P三重

訓練内容

高圧受変電設備の保守点検作業の技能高度化をめざして、受変電設備の構成及び保護継電器の仕組みを理解します。実際に各種保護継電器の年次点検に必要な試験実習を通して、自家用電気工作物の保守実務を効率良く、安全に行える技術を習得します。

1. 高圧受変電設備の概要

- (1)受変電設備の概要
(2)受変電設備の構成について

●VCT ●DS ●LBS ●VCB ●VT ●CT ●SR
●PC ●PAS ●OCR ●DGR ●OVR ●UVR

2. 継電器試験の実習

- (1)年次点検のための保護継電器試験実習

- ・過電流継電器(OCR)の試験実習
- ・地絡継電器(GR)の試験実習
- ・地絡方向継電器(DGR)の試験実習
- ・過電圧継電器(OVR)の試験実習
- ・不足電圧継電器(UVR)の試験実習
- ・SOG付きPASの試験実習

- (2)測定値の評価、管理値による保守

3. まとめ

- (1)保守のポイント
(2)やってはいけない作業、注意点
(3)まとめ

定員

10名

受講料

17,000円

前提知識

- ・「現場のための電気保全技術」を受講された方、または低圧電気の知識をお持ちの方

コース番号

開催日

会場

6D051

7/9(水)、10(木)

P三重

訓練時間

9:00～16:00
2日 (12時間)

使用機器

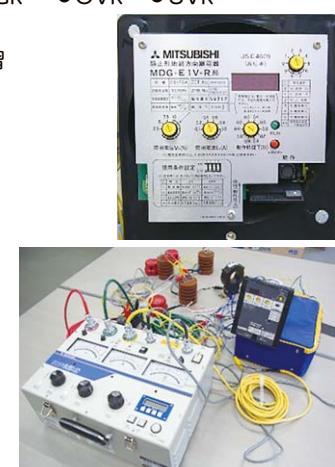
各種保護継電器、
マルチリレーテスター IPR2000、
位相特性試験機 RDF2

持参品

筆記用具

利用者の声

- ・特別高圧、高圧設備のメンテナンスをする上で、今まで知らなかった知識が増えました。
・年次点検で保安協会が行ってくれている内容を確認する為の知識が得られたと思います。



PLC制御の回路技術

三菱FX

P三重

P伊勢

訓練内容

有接点シーケンス制御機器の代替装置として開発されたPLCのシステム構成、活用方法、各種装置との接続方法を理解し、設計支援ツールを用いたプログラミング作成技術を習得します。(プログラム作成実習を通して、PLCを用いたプログラミング作成手法やモニタを用いた保全の仕方などができるようになります。)

1. PLC制御の概要

- (1)PLC制御の概要
- (2)PLCと入出力機器の接続
- (3)PLCの制御命令と内部リレーの構成

2. ラダーサポートソフトの使用方法

- (1)操作・機能について
- (2)プログラミング方法について
- (3)デバイステスト・モニタリングについて

3. 回路設計

- (1)基本プログラム
- (2)タイマ、カウンタ
- (3)SET、RST命令
- (4)PLS、PLF命令

4. 総合実習

- (1)実習装置の仕様
- (2)入出力機器の配線作業
- (3)制御回路設計実習
- (4)試運転・デバッグ



定員 10名

受講料

三重10,000円
伊勢 8,500円

前提知識

- ・「有接点シーケンス制御の実践技術」を受講された方、または同等の知識をお持ちの方

コース番号

開催日

会場

6D061	5/21(水)、22(木)	P三重
6D062	11/5(水)、6(木)	P三重
7E031	9/9(火)、10(水)	P伊勢
7E032	2026/2/4(水)、5(木)	P伊勢

訓練時間

9:00~16:00

2日 (12時間)

使用機器

三菱製PLC (FXシリーズ)、
設計支援ツール、各種負荷装置

持参品

(P三重) 筆記用具
(P伊勢) 筆記用具、ノート

利用者の声

- ・普段の業務では学べない知識の基礎から応用まで知れた。

PLC制御の回路技術

三菱Q

P三重

訓練内容

有接点シーケンス制御機器の代替装置として開発されたPLCのシステム構成、活用方法、各種装置との接続方法を理解し、設計支援ツールを用いたプログラミング作成技術を習得します。(プログラム作成実習を通して、PLCを用いたプログラミング作成手法やモニタを用いた保全の仕方などができるようになります。)

1. PLC制御の概要

- (1)PLC制御の概要
- (2)PLCと入出力機器の接続
- (3)PLCの制御命令と内部リレーの構成

2. ラダーサポートソフトの使用方法

- (1)操作・機能について
- (2)プログラミング方法について
- (3)デバイステスト・モニタリングについて

3. 回路設計

- (1)基本プログラム
- (2)タイマ、カウンタ
- (3)SET、RST命令
- (4)PLS、PLF命令

4. 総合実習

- (1)実習装置の仕様
- (2)入出力機器の配線作業
- (3)制御回路設計実習
- (4)試運転・デバッグ



定員 10名

受講料

10,000円

前提知識

- ・「有接点シーケンス制御の実践技術」を受講された方、または同等の知識をお持ちの方

コース番号

開催日

会場

6D071	6/25(水)、26(木)	P三重
-------	---------------	-----

訓練時間

9:00~16:00

2日 (12時間)

使用機器

三菱製PLC (Qシリーズ)、
設計支援ツール、各種負荷装置

持参品

筆記用具

利用者の声

- ・PLC、ラダー図の基礎を知ることができてよかったです。
- ・工場の設備保全を行うのに必須の知識が学べた。

PLC制御の回路技術

三菱R

P三重

訓練内容

有接点シーケンス制御機器の代替装置として開発されたPLCのシステム構成、活用方法、各種装置との接続方法を理解し、設計支援ツールを用いたプログラミング作成技術を習得します。(プログラム作成実習を通して、PLCを用いたプログラミング作成手法やモニタを用いた保全の仕方などができるようになります。)

1. PLC制御の概要

- (1)PLC制御の概要
- (2)PLCと入出力機器の接続
- (3)PLCの制御命令と内部リレーの構成

2. ラダーサポートソフトの使用方法

- (1)操作・機能について
- (2)プログラミング方法について
- (3)デバイステスト・モニタリングについて

3. 回路設計

- (1)基本プログラム
- (2)タイマ、カウンタ
- (3)SET、RST命令
- (4)PLS、PLF命令

4. 総合実習

- (1)実習装置の仕様
- (2)入出力機器の配線作業
- (3)制御回路設計実習
- (4)試運転・デバッグ



定員

10名

受講料

10,000円

前提知識

- ・「有接点シーケンス制御の実践技術」を受講された方、または同等の知識をお持ちの方

コース番号

6D081

開催日

10/1(水)、2(木)

会場

P三重

訓練時間

9:00～16:00

2日 (12時間)

使用機器

三菱製PLC (Rシリーズ)、
設計支援ツール、各種負荷装置

持参品

筆記用具

利用者の声

- ・PLCの中身が良く分からず困ったことが多いので、少しあは分かるようになった。
- ・PLCを使った設備で問題が発生した時にラダーツクから原因を探れるようになった。

PLC制御応用技術（応用命令編）

三菱Q ★

P三重

訓練内容

PLCを有効活用するには、基本的なON/OFFの制御だけでなく数値処理等も必要となってきます。本セミナーでは、応用命令、数値処理命令等の活用方法を習得するとともに、実際にA/D・D/A変換ユニットを利用し、インテリジェント機能ユニットを活用する技術も習得します。

1. PLCの概要

- (1)PLCの仕様、活用 (2)数値データの取扱い (3)データレジスタについて

2. 数値処理命令

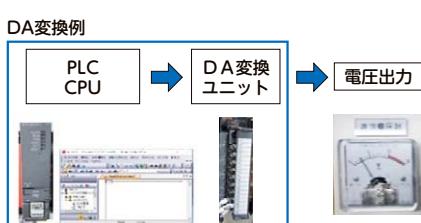
- (1)データ転送命令(指定されたデータの転送)
- (2)演算命令(加減乗除、インクリメント、デクリメントなど)
- (3)比較演算命令(データとデータの大小比較)
- (4)データ変換命令

3. 数値データの入出力

- (1)数値データの入出力に関する知識
(ディジタルスイッチ、7セグLED、高機能ユニット等)
- (2)インテリジェント機能ユニットについて
(バッファメモリの管理、プログラム)

4. 総合実習

- (1)アナログ/デジタルについて
- (2)A/D・D/A変換を用いた
制御回路設計
実習、試運転・デバッグ



定員

10名

受講料

10,000円

前提知識

- ・「PLC制御の回路技術」を受講された方、または同等の知識をお持ちの方

コース番号

6D091

開催日

7/2(水)、3(木)

会場

P三重

訓練時間

9:00～16:00

2日 (12時間)

使用機器

三菱製PLC (Qシリーズ)、
設計支援ツール、各種負荷装置

持参品

筆記用具

利用者の声

- ・三菱PLCの扱い方について実践できた。
- ・応用命令について詳しく知ることが出来た。

New PLCプログラミング技術（仕分け作業）

P三重

訓練内容

PLC制御設計の生産性の向上をめざして、2種類の自動制御仕分けシステム（ベルトコンベア仕分け装置、産業用ロボットによる仕分け装置）のプログラミング実習を通して、制御プログラム設計の実務能力を習得します。

1. 自動化におけるPLCプログラミング

- (1)PLCの仕様
- (2)入出力インターフェース

2. プログラム設計 I

- (1)製品判別(色分け)仕分けシステム実習装置(ベルトコンベア)の仕様
- (2)入出力割り付け
- (3)空気圧回路(シリンド、吸着の制御)
- (4)センサの設定(カラーセンサ、ファイバーセンサなど)
- (5)プログラミング課題(自動仕分け作業プログラミング)

3. プログラム設計 II

- (1)製品判別仕分けシステム実習装置(産業用ロボット)とシミュレーション
- (2)ティーチング作業、センサ設定
- (3)ピック＆プレイスのプログラミング



ベルトコンベアによる
仕分け装置



産業用ロボットによる
仕分け実習装置
(プログラミング実習)



産業用ロボットの
シミュレーション実習

定 員

10名

受 講 料

15,000円

前 提 知 識

- ・「PLC制御の回路技術」を受講された方、またはPLCのプログラミングの基礎を習得されている方

コ ー ス 番 号

開 催 日

会 場

6D181 10/7(火)、8(水)

P三重

訓 練 時 間

9:00～16:00

2日 (12時間)

使 用 機 器

三菱製PLC (FXシリーズ)、
三菱製産業用ロボット (RVシリーズ)
ベルトコンベア実習装置

持 参 品

筆記用具

講 師 か ら の 一 言

- ・PLC回路のプログラミングを少し学んだ方で、これから実践的なプログラミング課題に取り組んでみたい方向けのコースです。

New PLCによるタッチパネル活用技術

P三重

訓練内容

FA用途のタッチパネルにおける画面データの作成方法や制御装置であるPLCとの連携手法について実習を通して習得します。

1. タッチパネルの概要

- (1)タッチパネルの概要と特徴、用途
- (2)各種接続形態
- (3)通信形態

2. 画面設計

- (1)表示画面構成
- (2)スイッチ属性オブジェクト
- (3)ランプ属性オブジェクト
- (4)数値入力と表示
- (5)コメント
- (6)ウィンドウ表示
- (7)その他の画面制御機能

3. PLCとの連携

- (1)通信設定
- (2)連携



画面作成例

定 員

10名

受 講 料

14,000円

前 提 知 識

- ・「PLC制御応用技術(応用命令編)」を受講された方、または同等の知識をお持ちの方

コ ー ス 番 号

開 催 日

会 場

6D171 6/17(火)、18(水)

P三重

訓 練 時 間

9:00～16:00

2日 (12時間)

使 用 機 器

三菱製タッチパネル (GT2512)、
三菱製PLC (Qシリーズ)、設計支援ツール

持 参 品

筆記用具

講 師 か ら の 一 言

- ・最新のタッチパネルを用いたタッチパネル画面設計を習得することができます。

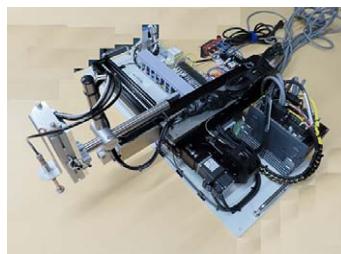
PLCによる位置決め制御技術

P三重

訓練内容	PLCとサーボモータによる位置決め制御の手法とPLC制御に関するインテリジェント機能ユニットの操作方法を習得します。
------	--

1. 位置決め制御概要

- (1)位置決め制御の目的と用途
- (2)制御方式の種類
- (3)ディジタルサーボシステムの構成
- (4)位置決め制御の仕組み



2. 位置決め制御設計

- (1)構成要素概略
- (2)モータの特徴・原理・種類
- (3)検出器の特徴・原理・種類
- (4)機械機構部品の特徴・原理・種類
- (5)位置決めコントローラの特徴・原理・種類



3. プログラミング

- (1)システム構成・仕様
- (2)各部機能と配線
- (3)データの構成
- (4)パラメータの設定
- (5)制御プログラミング作成
(1軸制御)

定員	5名	受講料	16,000円
----	----	-----	---------

前提知識	・「PLC制御応用技術(応用命令編)」を受講された方、または同等の知識をお持ちの方
------	---

コース番号	開催日	会場
6D151	7/15(火)、16(水)	P三重

訓練時間
9:00~16:00
2日 (12時間)

使用機器
三菱製PLC (Qシリーズ、QD75D4)、設計支援ツール、各種負荷装置 (サーボモータ)

持参品
筆記用具

利用者の声
・位置決めについてあいまいな知識しかなかったので技術が深まった。

Renew PLCによるFAセンサ活用技術 <現場のトラブル解決編>

講師:宇都 久司(予定)

P三重

訓練内容	FAセンサの種類と特徴を理解し、FAセンサを用いた回路技術について習得します。(FAセンサとPLCの接続、実際の回路における注意点などが学べます。)
------	--

1. センサの種類と特長

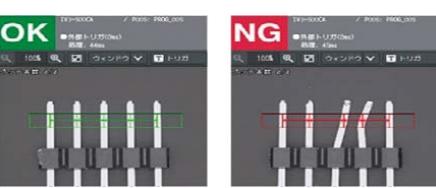
- (1)光センサ、ファイバーセンサ、レーザセンサ
- (2)近接センサ、画像センサなど

2. センサとPLCの接続

- (1)配線作業 (2)プログラミング及び調整作業

3. PLCとFAセンサ

- (1)センサの種類と用途
- (2)FAセンサのトラブル解決技術
- (3)IPコード、安全規格



画像センサによる判別



レーザセンサによる課題

定員	10名	受講料	15,000円
----	-----	-----	---------

前提知識	・「有接点シーケンス制御の実践技術」及び「PLC制御の回路技術」を受講された方、または同等の知識をお持ちの方
------	--

コース番号	開催日	会場
6D121	6/10(火)、11(水)	P三重

訓練時間
9:00~16:00 2日 (12時間)

使用機器
三菱製PLC (FXシリーズ)、各種センサ

持参品
筆記用具

利用者の声
・どのような原理でセンサが起動しているか理解する事が出来た。 ・普段の業務では学べない知識の基礎から応用まで知れた。 ・設備設計、製作の際に今回の知識が役立つと思った。

電気系保全実践技術〈機械保全 電気系保全作業〉



P三重

訓練内容

電気系保全作業に必要な知識及び技能を「2級技能検定（電気系保全作業）課題」を通して習得します。（PLCプログラムの修復、リレーの故障診断、有接点シーケンス回路のトラブル発見と修復ができるようになります。）

1. 電気系保全の概要

- (1) シーケンス制御の概要
- (2) 制御機器に生じる不良の原因と種類

2. 電気系に必要な標準的制御技術

- (1) シーケンス制御
- (2) PLC制御

3. 制御機器の故障、回路の不良発見・修復

- (1) リレー、タイマの接点、動作の良否判定（故障検出）
- (2) 制御回路の不良箇所発見及びその修復

4. 総合実習

「2級技能検定（電気系保全作業）課題による実習」

- (1) PLC入出力配線及び制御回路設計実習
- (2) 動作点検

- シーケンス制御回路の修復実習

5. まとめ



技能検定課題（電気系保全作業）

定 員	10名	受 講 料	15,000円
-----	-----	-------	---------

前提知識	・「有接点シーケンス制御の実践技術」及び「PLC制御の回路技術」を受講された方、または同等の知識をお持ちの方
------	--

コース番号	開催日	会場
6D191	11/26(水)、27(木)	P三重

訓練時間
9:00～16:00 2日（12時間）

使用機器
2級技能検定（電気系保全作業）実習装置、三菱製PLC（FXシリーズ）、設計支援ツール

持参品
筆記用具

利用者の声
・リレー不良、断線箇所の特定に役立ちました。 ・タイムチャートからPLCラダー図の作成することができ、業務に役立つ。

よくあるご質問

能力開発セミナーについて

Q10 申し込んだ後で、受講者を変更することはできますか？

A

お申し込みいただいた事業所内での受講者様の変更は可能です。
変更前の受講申込書（お手元にない場合は新しい受講申込書をご使用ください）に、変更前の受講者様についてキャンセルの旨を記入してください。また変更後の受講者様について、氏名等をご記入いただき、FAX等で送ってください。受講票を発送済の場合は、変更前の受講票を会場にお持ちください。

Q11 同じ内容の別日程のコースに変更できますか？

例：6M023（8/22、23）に申し込んだ→6M024（11/7、8）へ変更したい

A

同じ内容でも、別日程であれば別のコースとして扱います。従って変更前のコースをキャンセルし、改めて変更後のコースへお申し込みいただくことになります。変更前のコースにご入金いただいている場合は、一度ご返金させていただきます。

変更前のコースのお申し込み締め切り日を過ぎて、変更希望のご連絡をいただいた場合は、変更前・変更後両方のコースの受講料をご負担いただくことになりますのでご注意ください。

お問い合わせ先

ポリテクセンター三重 TEL.059-320-2645 FAX.059-322-2890 E-mail:mie-poly02@jeed.go.jp
ポリテクセンター伊勢 TEL.0596-37-3121 FAX.0596-37-4914

空気圧回路設計実践技術

P 三重

訓練内容	空気圧装置の回路設計・配管作業・動作確認に必要な空気圧機器の特徴を理解し、空気圧機器の選定・オールエア回路のシリンダ制御について実習を通して習得します。
------	--

1. 空気圧システム概論

- (1)空気圧の特徴
- (2)空気圧機器の概要

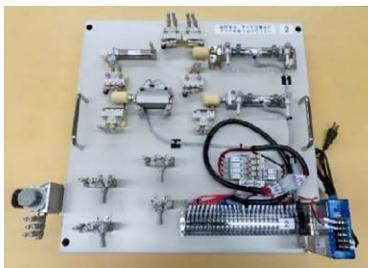
2. 機器選定方法

- (1)アクチュエータの選定
- (2)制御弁の選定
- (3)空気圧調質ユニットの選定
- (4)継ぎ手・チューブの選定

3. 空気圧実践回路実習

- (1)オールエア回路によるシリンダの制御実習
- (2)速度制御弁(スピコン)によるシリンダの速度制御実習
- (3)シリンダのシーケンス制御実習

4. まとめ



定 員	5名	受 講 料	16,000円
-----	----	-------	---------

前提知識	• 特になし
------	--------

コース番号	開催日	会場
6D131	5/15(木)、16(金)	P三重
6D132	10/28(火)、29(水)	P三重

訓練時間
9:00～16:00 2日 (12時間)

使用機器
空気圧実習装置

持参品
筆記用具

利用者の声
• 空気圧回路の読み方や空気圧機器の選定について理解が深まった。 • 空気を使用した回路は、作ったことがなかったので仕事に活かしたいと思いました。

電気空気圧技術

P 三重

訓練内容	電気空気圧制御に必要な空気圧機器（スイッチ、ソレノイドバルブ）の特徴を理解し、有接点リレー、PLCを用いた制御システム構築実習を通して、電気空気圧制御を習得します。
------	--

1. 電気空気圧制御方式

- (1)有接点リレーシーケンス
- (2)PLC制御

2. 電気空気圧制御機器

- (1)スイッチ(磁気センサ、圧力センサ)
- (2)ソレノイドバルブ

3. 電気空気圧制御実習

- (有接点リレーシーケンス制御)
(1)入出力機器の接続(配管・配線作業)
(2)シングルソレノイド使用時の制御回路
(3)ダブルソレノイド使用時の制御回路
(4)スイッチ使用時の制御回路

4. 電気空気圧制御実習

- (PLC制御)
(1)入出力機器の接続(配管・配線作業)
(2)シングルソレノイド使用時の制御回路
(3)ダブルソレノイド使用時の制御回路
(4)スイッチ使用時の制御回路



定 員	5名	受 講 料	16,000円
-----	----	-------	---------

前提知識	• 「空気圧回路設計実践技術」を受講された方、または同等の知識をお持ちの方
------	---------------------------------------

コース番号	開催日	会場
6D141	11/12(水)、13(木)	P三重

訓練時間
9:00～16:00 2日 (12時間)

使用機器
空気圧実習装置、リレー、三菱製PLC (FXシリーズ)、設計支援ツール

持参品
筆記用具

利用者の声
• シリンダーやソレノイドバルブ等、空気圧で動く設備を実際に配線・プログラミングすることができ役に立った。

New 空気圧設備の省エネルギー技術

講師:SMC株式会社(予定)

P三重

訓練内容

生産現場の空気圧設備の生産性向上をめざして、効率化、最適化（改善）に向けた空気圧装置、メインライン、使用端に至るまでの設備の圧力・流量データ取得実習や改善事例を通して、省エネ化を前提とした解析及び評価を行う方法を習得します。

定 員	10名	受 講 料	19,000円
-----	-----	-------	---------

前提知識	・特になし
------	-------

1. 圧縮空気の省エネルギー対策概要

- (1)省エネルギー対策の重要性
- (2)製造業を取り巻く省エネルギー化
- (3)音速コンダクタンスと有効断面積と流量

2. 圧縮空気消費改善実習

- (1)エアブロー特性
- (2)エアブローの省エネルギー対策
- (3)空気漏れの省エネルギー対策
- (4)機器の適切な選定

3. サプライチェーン排出量対策

- (1)製品ライフサイクルでのCO2排出量
- (2)新規設備における機器採用条件

コース番号	開催日	会場
6D201	2026/2/25(水)、26(木)	P三重
訓練時間		
9:00～16:00 2日 (12時間)		
使用機器		
空気圧実習装置		
持参品		
筆記用具		
講師からの一言		
・製造現場に求められる省エネルギー対策方法を実機を通して習得することができます。		

冷媒配管の施工と空調機器据付け技術（ルームエアコン編）

P三重

訓練内容

空調機器（ルームエアコン）に関する知識を学び、冷媒配管の施工技術と電気配線技術を習得します。また、空調機器のクリーニング技術も習得します。（フレア加工、冷媒配管、真空引き、電気配線、漏れチェック、ポンプダウン、エアコン洗浄の仕方）を習得します。

定 員	10名	受 講 料	12,000円
前提知識	・特になし		

1. 空調機器の知識

- (1)エアコンの構成
- (2)冷媒
- (3)動作原理(冷房・暖房)

2. ルームエアコンの施工技術

- (1)室内機の取り付け
- (2)室外機の設置
- (3)配管の取り付けとフレア加工
- (4)真空引き(真空ポンプ)
- (5)電気配線技術
- (6)ガス漏れチェック
- (7)試運転
- (8)ポンプダウン
- (9)室内機のクリーニング(高圧洗浄機)
- (10)解体



エアコン施工



エアコン洗浄

※実習は2人で1台を予定していますので、実機に充分に携わることができるカリキュラム内容となっています。
(応募多数の場合は3人で1台となります。)

コース番号	開催日	会場
6D161	10/4(土)、5(日)	P三重
訓練時間		
9:00～16:00 2日 (12時間)		
使用機器		
ルームエアコン、真空ポンプ、トルクレンチ、フレア加工機、ゲージマニホールド、ガス漏れ検出器、エアコン高圧洗浄機		
持参品		
筆記用具		
利用者の声		
・ルームエアコンの取り付けから洗浄まで実際のエアコン・洗浄機器を使いながら学ぶことができた。		

実践建築設計2次元CAD技術（利用編）

Jw_cad

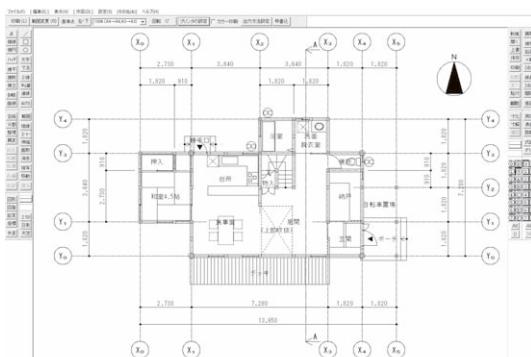
P三重

P伊勢

訓練内容

建築関連業種に従事されている方を対象に、建築図面作成に必要なJw_cadの基本操作を習得し、効率的に図面作成・管理を行う手法を習得します。

- 概要
- 基本操作
- 作図コマンドの概要および操作法
- 編集コマンドの概要および操作法
- 基本作図演習
- 平面図作図演習
- 図面出力
- 質疑応答



定員

10名

受講料

三重10,500円
伊勢9,000円

前提知識

- 建築図面の読み解き知識がある方
- パソコンの基本操作ができる方

コース番号

開催日

会場

6H011	4/16(水)、23(水)	P三重
6H012	10/15(水)、22(水)	P三重
7H021	5/27(火)、28(水)	P伊勢

訓練時間

9:30～16:30 三重

9:00～16:00 伊勢

2日 (12時間)

使用機器

2次元CAD (Jw_cad for Windows)

※P三重は市販テキスト「Jw_cadで学ぶ建築製図の基本」(受講料に含む)、P伊勢は自作テキストを使用

持参品

筆記用具

利用者の声

- 丁寧なわかりやすい指導で基礎的な知識が身についた。
- Jw-cadを使ったことがほとんどなかったので、勉強になった。
- 会社で習ったことの復習になり、新しい操作、便利なコマンド、理解できていなかつたことができるようになった。

実践建築設計2次元CAD技術（活用編）

Jw_cad

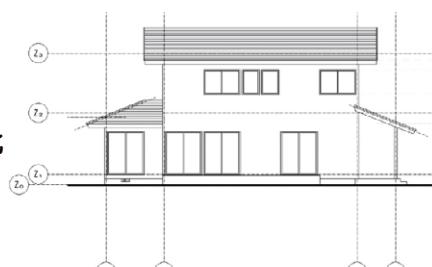
P三重

P伊勢

訓練内容

建築関連業種に従事されている方を対象に、木造住宅の各種図面作成を通して、Jw_cadを活用した図面作成・管理の省力化・効率化を行う手法を習得します。

- 概要
- 作図環境の設定
- 木造平面図作成演習
- 各種図作成演習
- 各種データ・プログラムを活用した設計の効率化
- 図面編集および出力
- 質疑応答



定員

10名

受講料

三重7,000円
伊勢9,000円

前提知識

- 建築図面の読み解き知識がある方
- Jw_cadの基本操作のできる方

コース番号

開催日

会場

6H021	5/14(水)、21(水)	P三重
6H022	11/12(水)、19(水)	P三重
7H031	6/17(火)、18(水)	P伊勢

訓練時間

9:30～16:30 三重

9:00～16:00 伊勢

2日 (12時間)

使用機器

2次元CAD (Jw_cad for Windows)

持参品

「Jw_cadで学ぶ建築製図の基本」(P三重のみ)
ISBN : 9784767823553

筆記用具

利用者の声

- 現場で習ったことを整理でき、新たな知識を得ることができた。
- 知らなかったコマンドなどをたくさん使って勉強になりました。

*「実践建築設計2次元CAD技術（利用編）Jw_cad」と連続受講を推奨します。

実践建築設計2次元CAD技術（利用編）

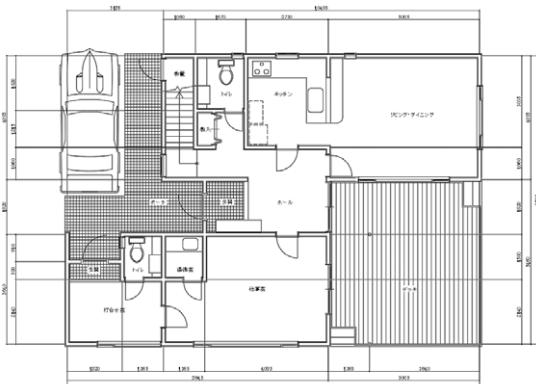
AutoCAD

P三重

訓練内容

建築関連業種に従事されている方、これから従事される方を対象としたコースです。
建築図面作成に必要なAutoCADの基本操作を習得し、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた図面作成の実習を通して、建築図面に関する作成技術を習得します。

1. 概要
2. 画面まわりの名称と基本機能
3. 作図コマンドの概要および操作法
4. 編集コマンドの概要および操作法
5. 基本作図演習
6. 平面図作図演習
7. 図面編集及び出力
8. 質疑応答



定員 10名

受講料

10,500円

前提知識

- ・建築図面の読解知識がある方
- ・パソコンの基本操作ができる方

コース番号

開催日

会場

6H031 4/19(土)、20(日)

P三重

訓練時間

9:30～16:30

2日（12時間）

使用機器

2次元CAD (AutoCAD)

テキスト「AutoCAD LTで学ぶ建築製図の基本 AutoCAD2022対応」は受講料に含まれています

持参品

筆記用具

利用者の声

- ・二級建築士を取得しているものの手書きしか出来なかつたので、CADが出来る事で仕事の幅が広がることになると思います。

実践建築設計2次元CAD技術（活用編）

AutoCAD

P三重

訓練内容

建築関連業種に従事されている方を対象に、建築図面作成に必要なAutoCADを活用した図面作成手法を学び、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた図面作成の実習を通して、建築図面に関する作成技術を習得します。

1. 概要
2. 作図環境の設定
3. テンプレートの活用
4. 立・断面図の作成準備
5. 立面図の作成
6. 断面図の作成
7. 図面編集及び出力
8. 質疑応答



定員 10名

受講料

7,000円

前提知識

- ・建築図面の読解知識がある方
- ・AutoCADの基本操作ができる方

コース番号

開催日

会場

6H041 5/17(土)、18(日)

P三重

訓練時間

9:30～16:30

2日（12時間）

使用機器

2次元CAD (AutoCAD)

持参品

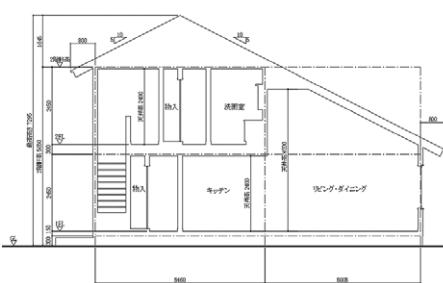
筆記用具

※上段コース（利用編）と同テキスト
（「AutoCAD LTで学ぶ建築製図の基本」
ISBN : 9784767829296）を使用します。
連続受講されない方はご購入下さい。

利用者の声

- ・不明な点を指摘していただき勉強になりました。
時短につながる技術が身に付きました。

*「実践建築設計2次元CAD技術（利用編）AutoCAD」と連続受講を推奨します。



実践建築設計3次元CAD技術 3Dマイホームデザイナー Pro9

P 三重

P 伊勢

訓練内容

建築関連業種に従事する方を対象に、建築設計の省力化・効率化などの高付加価値化に向け、モデリング作成を通じ、建築プレゼンテーションソフト、3Dマイホームデザイナー Pro9による建築計画図（図面・ベース）作成法を習得します。

1. CGの概要
2. 3次元CGの製作手順
3. 基本操作
4. 間取り図作成
5. 素材のマッピング
6. 3Dモデルの追加
7. レンダリング設定
8. レンダリングおよび出力
9. 質疑応答



定 員 10名

受講料 三重10,000円
伊勢11,000円

前提知識

- ・建築図面の読み解き知識がある方
- ・パソコンの基本操作ができる方

コース番号	開催日	会場
6H051	6/18(水)、25(水)	P三重
6H052	10/25(土)、26(日)	P三重
6H053	12/10(水)、17(水)	P三重
7H151	9/10(水)、11(木)	P伊勢

訓練時間

9:30～16:30 三重
9:00～16:00 伊勢
2日 (12時間)

使用機器

建築プレゼンテーションソフト
(3Dマイホームデザイナー Pro9)
テキスト「3Dマイホームデザイナーで学ぶ住宅プランニング」は受講料に含まれています

持参品

筆記用具

利用者の声

- ・運よくこの研修を見つけられて受講出来て良かったです。先生もとても丁寧に分かりやすく教えて下さり感謝しています。

BIMを用いた建築設計技術

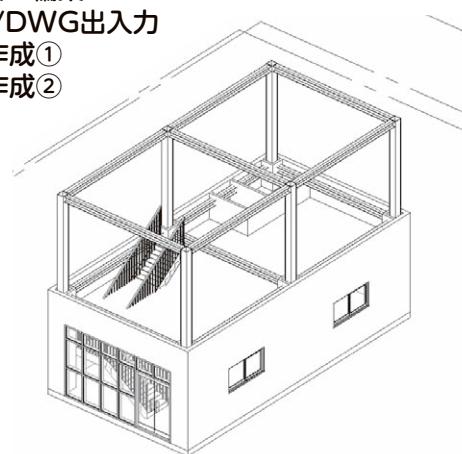
Revit

P 三重

訓練内容

建築関連業種に従事されている方を対象に、BIM (Revit) を活用した3Dモデル作成手法を学び、計画段階における構造の検討、問題個所に事前確認ができるよう、実習を通してBIMの使用方法に関する技術を習得します。

1. BIMの基本操作
2. 建築オブジェクトの作成①
3. 建築オブジェクトの作成②
4. 線分・注釈の作成/要素の編集
5. ビューとシート/印刷/DWG出入力
6. 2階建てモデル・図面作成①
7. 2階建てモデル・図面作成②



定 員 10名

受講料 10,500円

前提知識

- ・建築図面の読み解き知識のある方
- ・パソコンの基本操作ができる方

コース番号	開催日	会場
6H061	8/6(水)、7(木)	P三重
6H062	10/8(水)、9(木)	P三重
6H063	2026/1/14(水)、15(木)	P三重

訓練時間

9:30～16:30
2日 (12時間)

使用機器

BIMソフト (Revit)
テキスト「7日でおぼえるRevit(Revit&RevitLT 2022/2021対応)」は受講料に含まれます。

持参品

筆記用具

講師からの一言

- ・自宅、会社でも復習ができるよう市販の本を活用した講習となっています。

*「実践建築設計2次元CAD技術(利用編)AutoCAD」と連続受講を推奨します。

高齢者配慮住宅のリフォーム計画実践技術

P 三重

訓練内容

建築設計業務に従事する方を対象とし、建築計画の新たな品質及び製品の創造をめざして、高付加価値化に向けた設計実習を通じ、高齢者配慮住宅のリフォーム計画技術を習得します。

1. コース概要および留意事項

- (1)概要説明
- (2)安全上の留意事項

2. 高齢社会と住環境

- (1)高齢者の疾病と医療
- (2)高齢者のリハビリ
- (3)高齢者福祉対策

3. 医療従事者からみた高齢者への取組

- (1)補助具と住宅改造
- (2)生活改善としての住宅改造
- (3)医療専門職との連携

4. 高齢者対応空間と住環境設備

- (1)高齢社会への取り組み
- (2)浴室、トイレ設計のポイント
- (3)福祉用具

5. 高齢者に配慮したリフォーム計画

6. 設計実習

7. まとめ



定 員 10名

受 講 料

7,500円

前提知識

- ・住宅計画・設計に関する基礎知識を有している方

コース番号

開催日

会場

6H071

2026/2/14(土)、15(日)

P三重

訓練時間

9:30～16:30

2日 (12時間)

使用機器

製図道具

持参品

筆記用具、関数電卓（手描き用の製図道具は貸出します）

講師からの一言

- ・2024年には全人口に占める65歳以上の高齢者は29%、2065年には40%を超えるといわれています。高齢者に配慮した住宅のリフォーム計画手法と一緒に勉強しましょう。

New 木造住宅における壁量計算技術

講師:寺本 武司(予定)

P 三重

訓練内容

木造住宅の設計・施工・監理・検査業務に従事する方を対象とし、壁量計算実習を通して効率化・適正化・最適化（改善）に向けた設計の手順と構造計画に関する技術を習得します。テキスト（大橋好光ほか著、ひとりで学べる木造の壁量設計演習帳）は受講料に含まれています。

1. コース概要及び留意事項

- (1)概要説明
- (2)安全上の留意事項

2. 木造住宅の構造設計

- (1)木造住宅構造設計の現状と課題
- (2)4号特例の廃止と対応について

3. 壁量設計と演習

- (1)壁量計算の成立と変遷
- (2)構造計画と壁量
- (3)壁量計算演習
- (4)4分割法
- (5)N値計算

4. 構造計画特殊形態への対応

- (1)特殊形態についての対応
- (2)特殊形態プランの壁量・配置設計演習

5. まとめ



定 員 10名

受 講 料

17,000円

前提知識

- ・4号建築に該当する2階建て在来軸組工法住宅の意匠図が読解できる方

コース番号

開催日

会場

6H081

6/10(火)、11(水)

P三重

訓練時間

9:30～16:30

2日 (12時間)

使用機器

テキスト（大橋好光ほか著、ひとりで学べる木造の壁量設計演習帳）

持参品

筆記用具、電卓

講師からの一言

- ・壁量設計の成立と変遷、構造計画と壁量、直下率などを理解し地震に強い住宅を学びましょう！

木造住宅における許容応力度設計技術

講師:寺本 武司(予定)

P三重

訓練内容

木造住宅の適正化、安全向上に向けた構造設計段階における許容応力度設計実習を通して、許容応力度計算における理論的な根拠・ポイントの技術を習得します。

1. 概要

- (1)概要説明
- (2)安全上の留意事項

2. 荷重・外力

- (1)構造関係規定
- (2)荷重・外力の算定と組み合わせ
- (3)地震力の考え方

3. 鉛直構面の設計実習

- (1)耐力壁の壁倍率と許容応力度の関係
- (2)鉛直構面の設計実習

- (3)建物バランス

4. 水平構面の設計実習

- (1)水平構面の負担水平力と許容応力度の算定

- (2)水平構面の設計実習

5. 部材の設計実習

- (1)木材の許容応力度

- (2)荷重・外力の組み合わせの関係

- (3)部材の応力算定実習

6. まとめ



定 員 10名

受 講 料

17,500円

前提知識

- ・構造設計に関する業務に従事する方

コース番号

開催日

会場

6H091 11/25(火)、26(水)

P三重

訓練時間

9:30~16:30

2日 (12時間)

使用機器

テキスト「**入門 木造の許容応力度計算ワークブックス**」は受講料に含まれています。

持参品

筆記用具、電卓

講師からの一言

- ・2025年度から木造住宅で許容応力度計算が必要な建物の規模が引き下げられます。この機会にぜひ受講ください。

New 木造住宅の架構設計技術

講師:寺本 武司(予定)

P三重

訓練内容

木造住宅の設計・施工・監理・検査業務に従事する方を対象とし、施工時の効率化や安全性向上に向けた建築物の構造計画、構造安定性を確保した架構設計に必要な知識を理解するとともに、構造伏せ図の作成を通して、架構設計ができる技能・技術をを習得します。

1. コース概要及び留意事項

- (1)概要説明
- (2)安全上の留意事項

2. 架構設計の概要

- (2)架構と間取り
- (2)荷重・外力とその伝達機構
- (3)直下率について

3. 直下率チェック

- (1)直下率の考え方と評価方法
- (2)モデルプランによる直下率演習

4. 事故事例分析

- (1)事故事例における直下率
- (2)事故事例の分析

5. 間取りと構造計画からみた架構設計

- (1)下屋の考え方
- (2)平面形状
- (3)架構を生かした空間

6. 構造図作成と架構チェック

- (1)構造図の作成と架構設計
- (2)構造図チェック

7. まとめ



定 員 10名

受 講 料

16,500円

前提知識

- ・在来軸組構法住宅の構造図が読解できる方

コース番号

開催日

会場

6H101 12/23(火)、24(水)

P三重

訓練時間

9:30~16:30

2日 (12時間)

使用機器

市販テキスト「**安全な構造の伏図の描き方**」は受講料に含まれます

持参品

筆記用具、関数電卓

講師からの一言

- ・荷重・外力とその伝達機構や壁や柱の直下率など、地震に強い木造住宅と一緒に学びましょう!

実務事例に基づく建築確認申請実践対策技術

講師:吉田 直優(予定)

P 三重

訓練内容

建築計画における生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)に向けた実務事例(法的適合確認時及び現場検査時に設計者が解決すべき実務上の問題となっている様々な具体事項)を想定した対策実習を通して、確認申請時における頻出問題事項の解決対策を習得します。

1. コース概要および留意事項

- (1)概要説明
- (2)安全上の留意事項

2. 確認申請・検査概要

- (1)確認申請制度概要
- (2)確認申請時における事前相談について
- (3)中間・完了検査時における訂正事項等について

3. 訂正事項対策

- (1)申請書関係指摘事項対策
- (2)設計図書関係指摘事項

4. 事前相談事項

- (1)申請制度・手続き関係対策
- (2)敷地・道路関係対策
- (3)単体規定対策
- (4)集団規定対策

5. 各種検査

6.まとめ



定 員 10名

受 講 料

16,000円

前提知識

- ・建築法規に関する基礎知識を有している方

コース番号

開催日

会場

6H111 12/2(火)、3(水)

P三重

訓練時間

9:30~16:30

2日 (12時間)

使用機器

市販テキスト「世界で一番やさしい確認申請(戸建て住宅編)」は受講料に含まれます。

持参品

筆記用具、関数電卓

講師からの一言

- ・建築確認申請の実務について勉強したい方にはうってつけのコースです。

New

電気設備CADを用いた3次元モデリング技術

講師:株式会社ダイテック(予定)

P 伊勢

訓練内容

CADによる電気設備図作成実習を通して、電気設備図面の3次元モデリング技術とその活用手法について習得します。

定 員 10名

受 講 料

18,000円

前提知識

- ・パソコンの基本操作ができる方

1. コース概要及び留意点

- (1)訓練の目的
- (2)専門的能力の確認
- (3)安全上の留意事項

2. 3次元モデリング概要

- (1)建設業界における3次元CADの活用状況
- (2)設備図面における3次元CADの活用状況

3. 電気設備設計

4. CAD操作

- (1)CAD操作
- (2)3次元データの取り扱い
- (3)データ形式と互換性

5. 電気設備設計実習

- (1)設備図作図のための準備
- (2)電気設備図面の作成
- (3)図面上からの数量拾い出し
- (4)3次元モデリングの作成

6. 総括と評価

- (1)3次元モデリングの評価
- (2)建築図面での活用の検討
- (3)訓練コース内容のまとめ・確認



コース番号

開催日

会場

7H011 9/17(水)、18(木)

P伊勢

訓練時間

9:00~16:00

2日 (12時間)

使用機器

使用ソフトウェア: CADWe'll Tfas E(株式会社ダイテック)

テキスト代は受講料に含まれています。

持参品

筆記用具

講師からの一言

- ・新規コースです。3次元設備CADによる充実の専用機能が、業務パフォーマンスを最大限に高めます。

New 剛性マトリクス法のためのマトリクス演算実践技術

P 伊勢

訓練内容

剛性マトリクス法による二次元骨組解析実践技術を受講するためのマトリクス演算手法を習得します。純粋数学ではなく、マトリクス演算の流れを習得していただくことを目的としています。

定 員	10名	受 講 料	10,000円
-----	-----	-------	---------

前提知識

- ・高校理系程度の微分積分の知識

1. コース概要及び留意点

- (1)訓練の目的
- (2)専門的能力の確認
- (3)安全上の留意事項

2. 掃き出し法による連立一次方程式の解法

3. 建築構造解析におけるベクトルの演算

- ベクトルの和
- ベクトルのスカラー倍
- ベクトルの演算法則
- 内積

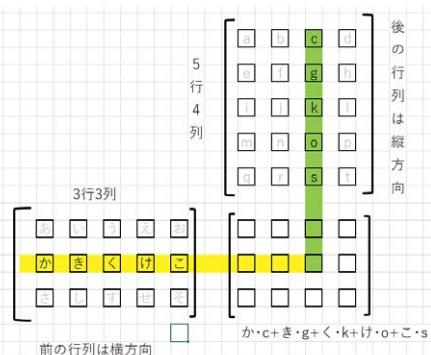
4. 建築構造解析における線形写像

- 行列とベクトルの積
- 2次元回転行列の算出

5. 建築構造解析における行列の演算

- 行列の和
- 行列のスカラー倍
- 行列の計算法則
- 逆行列

6. まとめ



コース番号	開催日	会場
7H061	8/23(土)、30(土)	P伊勢

訓練時間
9:00～16:00
2日 (12時間)

使用機器
表計算ソフト

持参品
電卓、筆記用具、メモ紙

講師からの一言
・新規コースです。剛性マトリクス法による二次元骨組解析実践技術で使用するマトリクス演算手法を習得していただきます。

New 剛性マトリクス法による二次元骨組解析実践技術

P 伊勢

訓練内容

たわみ角法による応力解析の知識を基に、二次元トラス剛性マトリクス、二次元不静定構造物の部材一本に対する剛性マトリクスを導出します。また、導出した剛性マトリクスから二次元構造物の全体剛性マトリクスを導出し、応力解析法手法を習得します。テキスト代は受講料に含まれています。

定 員	10名	受 講 料	14,000円
-----	-----	-------	---------

前提知識

- ・たわみ角法による応力解析の知識、高校理系程度の微分積分の知識、行列とベクトルの積の知識、逆行列の知識

1. コース概要及び留意点

- (1)訓練の目的
- (2)専門的能力の確認

2. 剛性マトリクス法の概要

3. 剛性マトリクス法の解法

4. トラスの解法

5. ラーメンの解法

6. 表計算ソフトによる計算

7. まとめ



コース番号	開催日	会場
7H071	9/13(土)、20(土)、10/11(土)	P伊勢

訓練時間
9:00～16:00
3日 (18時間)

使用機器
表計算ソフト

持参品
関数電卓、筆記用具、メモ紙

講師からの一言
・新規コースです。セミナー受講者のアンケート結果より企画しました。

*「剛性マトリクス法のためのマトリクス演算実践技術」と連続受講を推奨します。

静定構造物の構造解析技術

P 伊勢

訓練内容

建築構造力学分野の中で、静定梁、静定ラーメン、静定トラスの応力算定および、座屈、静定梁の変形について手計算で求められる技能を習得します。テキスト（はじめて学ぶ建築構造力学、太田和彦他著、森北出版株式会社）は受講料に含まれています。また、テキストは不静定構造物の構造解析技術でも使用します。

1. コース概要及び留意事項
2. 建築構造物のモデル化と反力
3. 静定構造物の応力解析
4. 応力と変形
5. 断面の諸性能
6. 静定構造物の変形



定員

10名

受講料

16,500円

前提知識

- ・高校数学で習う微分積分の知識がある方

コース番号

開催日

会場

7H041

6/7(土)、14(土)、28(土)、
7/5(土)

P伊勢

訓練時間

9:00～16:00

4日 (24時間)

使用機器

テキスト（はじめて学ぶ建築構造力学、太田和彦他著、森北出版株式会社）

持参品

電卓、筆記用具、メモ紙

利用者の声

- ・大変わかり易く、ていねいに御教授頂き、良かったです。
- ・自分の勉強不足もあり、理解し辛い場面もありましたが、とてもていねいに教えて頂き、とても感謝しております。ありがとうございました。
- ・先生の教え方が大変わかりやすかったです。ありがとうございました。

不静定構造物の構造解析技術

P 伊勢

訓練内容

たわみ角法による不静定梁、不静定ラーメンの応力算定、固定モーメント法による不静定ラーメンの応力算定、D値法による水平力を受ける不静定ラーメンの応力算定、仮想仕事法による塑性解析力を手計算で求められる技術を習得します。

テキストは静定構造物の構造解析技術と共通です。

1. コース概要及び留意事項
2. 静定構造物の変位
3. 不静定構造物の応力解析
4. 塑性解析
5. まとめ



定員

10名

受講料

10,000円

前提知識

- ・静定構造物の応力算定ができる方
- ・高校数学で習う微分積分の知識がある方

コース番号

開催日

会場

7H051

7/19(土)、26(土)、
8/9(土)

P伊勢

訓練時間

9:00～16:00

3日 (18時間)

使用機器

テキスト（はじめて学ぶ建築構造力学、太田和彦他著、森北出版株式会社）

持参品

電卓、筆記用具、メモ紙、テキスト（大田和彦他著、はじめて学ぶ建築構造力学、森北出版 ISBN : 978-4627552913）

利用者の声

- ・公式の考え方や原則の根本が理解出来た。
- ・不静定を教えて頂けるところがまれなので、とても良かったです。このようなセミナーをもっと開講して欲しいです。よくわかるセミナーでした。

*「静定構造物の構造解析技術」と連続受講を推奨します。

施工図作成実践技術

P 伊勢

訓練内容

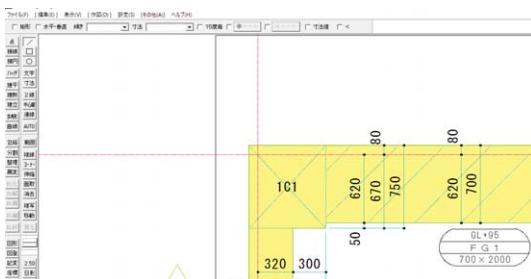
RC建築物の意匠図と構造図を読解できる方で、Jw_cadで図面作成か印刷ができる方を対象に、市販テキスト（櫻井良明著、Jw_cad建築施工図入門、エクスナレッジ）を利用し、RC構造物の基礎伏せ図と断面図、見上げ図の作成方法を習得します。テキスト代は受講料に含まれています。

1. コース概要及び留意点

2. 躯体施工図作成実習

- (1)課題モデル設計図書の読解
- (2)課題モデル平面詳細図(総合図)の読解
- (3)躯体施工図の作図フロー
- (4)施工図の作成実習

3.まとめ



定 員

10名

受 講 料

11,000円

前提知識

- ・実践建築設計2次元CAD技術(利用編)を受講された方又は同等以上にJw_cadが利用できる方で、建築意匠図、構造図が読解できる方

コース番号

開催日

会 場

7H101 11/19(水)、20(木)

P伊勢

訓練 時 間

9:00～16:00

2日 (12時間)

使 用 機 器

パソコン、Jw_cad、テキスト（櫻井良明著、Jw_cad建築施工図入門、エクスナレッジ）

持 参 品

電卓、筆記用具、メモ紙

講師からの一言

- ・セミナー受講者のアンケート結果を基に企画したセミナーです。

隅木・振垂木の施工実践技術

P 伊勢

訓練内容

木造建築の小屋組み作業に従事されている方を対象に、隅木・振垂木の墨付け、加工組立実習を通して、寄棟、入母屋等の隅木・振垂木の墨付・加工の技能及び技術を習得する。

1. コース概要及び留意点

- (1)訓練の目的 (2)専門的能力の確認 (3)安全上の留意事項

2. 各小屋組工法

- (1)各小屋組の工法について (2)寄棟・入母屋の細部おさまりについて

3. 規矩術

- (1)各種勾配 (2)各構成部材の規矩術について

4. 原寸図

- (1)隅木現寸の手順・表現方法と作成
- (2)振垂木現寸の手順・表現方法と作成

5. 墨付

6. 加工

7. 組立

8.まとめ



定 員

10名

受 講 料

13,000円

前提知識

- ・建築図面の読解知識のある方
- ・大工道具の取扱いができる方

コース番号

開催日

会 場

7H081 5/27(火)、28(水)、29(木)

P伊勢

訓練 時 間

9:00～16:00

3日 (18時間)

使 用 機 器

原寸図用ケント紙、大工技術を学ぶI(市谷出版社)、下敷き、木材一式、削り台

持 参 品

大工道具一式、三角定規(600mm)、直定規(1000mm)

利 用 者 の 声

- ・勾配が理解できるようになった。
- ・自身の技術の未熟さを思い知ることができた。

継手・仕口の施工実践技術

P 伊勢

訓練内容

木造建築の施工作業に従事されている方を対象に、継手・仕口の墨付け、加工組立実習を通して技能及び技術を習得する。

定 員 10名 受 講 料 18,500円

前提知識
・建築図面の読解知識のある方
・大工道具の取扱いができる方

1. コース概要及び留意点

- (1)訓練の目的 (2)専門的能力の確認 (3)安全上の留意事項

2. 規矩用具の活用

- (1)墨つぼの調整 (2)指矩について
(3)高度な加工を行う為に必要な規矩用具の活用ポイントについて

3. 原寸図の概要説明

- (1)原寸図について (2)勾配の実際と応用 (3)規矩術について

4. 継ぎ手・仕口の製作

- (1)鑿の知識及び墨付・加工技術について
(2)鋸の知識及び墨付・加工技術について
(3)鉋の知識及び墨付・加工技術について
(4)手工具・電動工具の安全な作業方法
(5)各種墨付け・加工のポイント
(6)加工・組立



5. 評価と問題解決

- (1)評価
(2)工作技術・技能と問題点の把握と
解決手法
(3)総括討議

6. まとめ

コース番号	開催日	会場
7H091	6/3(火)、4(水)、5(木)、 6(金)	P伊勢
訓練時間		
9:00～16:00 4日 (24時間)		
使用機器 大工技術を学ぶ I (市谷出版社)、木材一式、 削り台		
持参品 大工道具一式		
利用者の声 ・実務経験がなかったので今後に活かせると考え ます。		

よくあるご質問

能力開発セミナーについて

Q12 受講する際の服装・持ち物はどのようにしたらよいですか？

A

服装に特に決まりはございませんが、各コースの「持参品」の欄に持参品の指定がある場合は確認のうえご持参ください。

Q13 各コースの会場（教室）へはどのように行けばよいですか？

A

事前に送付する受講票に会場を記載しています。同封の施設案内図を参考に直接会場へお越しください。

Q14 駐車場はありますか？

A

ございます。セミナー受講者様は当センターへお車でお越しいただくことも可能です。当センターには約200台の駐車場を無料でご利用いただけます。ただし、駐車場での事故等については当センターでは責任を負いかねますのでご了承ください。

お問い合わせ先

ポリテクセンター三重 TEL.059-320-2645 FAX.059-322-2890 E-mail:mie-poly02@jeed.go.jp
ポリテクセンター伊勢 TEL.0596-37-3121 FAX.0596-37-4914

能力開発セミナー オーダーメイド型コースのご案内

ポリテクセンター三重・伊勢では、公開中の能力開発セミナーの他に、企業・事業主団体様のご要望に応じたオーダーメイド型の能力開発セミナーを承っております。

このような
課題を抱えている
皆様をサポート
します！

講習を受けたいが、
公開されている
コースは日程が
合わない

講師や
機器・場所が
不足して
研修が行えない

自社(業界等)の
実情や目的に合った
セミナー(研修)を
実施したい



オーダーメイド型
セミナー計画の
ポイント

1

セミナーガイドでご案内している
コースは、全てオーダーメイド型
セミナーとして計画できます。
(セミナーガイドにないコースに
ついても、ご相談に応じます。)

2

会場は原則としてポリテクセン
ター実施となります、出張セミ
ナーにも対応します。(使用機器
には、持ち込み(無料貸し出し)
で実施可能コースもあります。)

3

定員は原則10名以上で実施可能で
すが、10名未満の場合についても
ご相談ください。(協力会社、系
列会社、個人グループ等でも可能
です。)

4

1コース**12時間以上**(1日6時間
として2日以上)です。(実施日・
時間帯等はお客様の状況により設
定できますので、ご相談ください。)

5

受講料はセンターの規定に基づき
算定し、ご提示します。

ご相談対応
(内容・日程・受講者数など)

実施内容のご提案・
受講料の見積額の提示

実施内容・受講料
の確認

受講料の請求
と入金

セミナーの
実施

お問い合わせ先

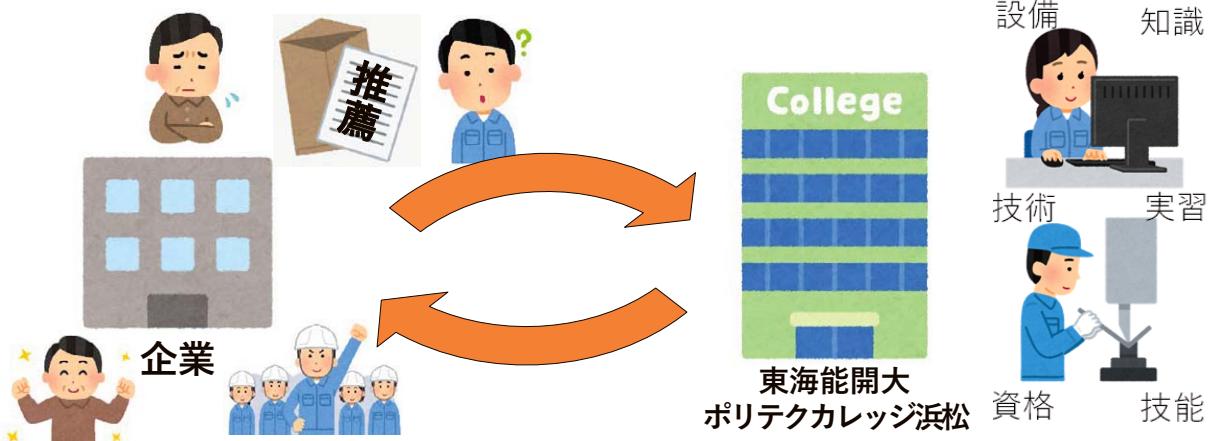
ポリテクセンター三重 TEL.059-320-2645
ポリテクセンター伊勢 TEL.0596-37-3121

事業主推薦制度のご案内

職業能力開発大学校等が目指す人材育成支援として、『事業主推薦制度』がございます

【人材育成の特徴】

- 充実した設備環境と指導スタッフが支援！
- リーダーに必要な応用力・分析力を養成！
- 基礎力と現場に対応できる実践力を養成！
- 実践的ものづくりの知識と技術を段階的に養成！



企業
Company

- 普通高校を卒業した社員にじっくりと教育訓練を受けさせたい
- 若手社員に基礎から学ばせ、技術力を高めさせたい
- 将来、現場の責任者となるような人材を育てたい

社員を 東海能開大 または
ポリテクカレッジ浜松 へ

社員を 東海能開大 へ

入社1～3年目の若手社員の方へ

基礎から応用まで
しっかり学べる



専門課程

基礎からしっかり学び、
現場に即した実習に
取り組むことにより、
現場に対応できる
実践力が身につきます！

募集科

生産機械技術科
電気エネルギー制御科
電子情報技術科

各2年間の訓練

入社3～10年目の若手社員の方へ

ものづくりの一連の
流れを理解できる

応用課程

基本的な仕組みを理解
した上で、企画・設計・
製作のプロセスを体験し、
応用力や分析力が
身につきます！

募集科

生産機械システム技術科
生産電気システム技術科
生産電子情報システム技術科



修了後の
イメージ
Future Image

各部門の架け橋となる人材（実践技能者）
ものづくり現場のプロフェッショナル

○事業主推薦制度に関するお問い合わせ

東海職業能力開発大学校（東海能開大）

浜松職業能力開発短期大学校（ポリテクカレッジ浜松）

TEL：0585-34-3601 学務課

TEL：053-541-2432 学務援助課

らしく、
はたらく、
ともに

JEED

施設設備の貸与・講師派遣のご案内

ポリテクセンター三重・伊勢では、事業主及び事業主団体など皆様のご要望により、教室・実習場・各種設備などの開放（施設貸与）を行っています。

企業研修・会議・従業員教育などにご利用下さい。また、職業訓練実施に係るテクノインストラクター（職業訓練指導員）の派遣（講師派遣）も行っております。

ご利用いただける施設の一例

（写真はポリテクセンター三重の紹介です。
詳しくはホームページを参照してください。）



本館101教室



D棟1階機械加工実習場

施設貸出しの流れ

1 使用状況の確認

お電話にて、ご希望の施設設備の空き状況をご確認ください。

※事前に施設設備を見学されることをお勧めいたします。
遠方の場合は、施設設備の画像をお送りすることも可能です。

2 使用申し込み

ご利用目的に沿った「申請書」をホームページからダウンロードし、必要箇所にご記入のうえ、FAX、郵送又は持参にてご提出ください。

3 「施設設備使用承諾書」の送付

ご利用日の約1か月前に、「承諾書」とび「請求書」をお送りいたします。原則として、利用日前までにお振込みください。振込手数料はご利用者様負担となります。

キャンセル

- ・使用予定をキャンセルされる場合は、使用日の1週間前（その日が土日祝日・12月29日～1月3日にあたる場合は直前の平日）までにご連絡をお願いいたします。
- ・1週間前を過ぎてのキャンセルは使用料金の返金はできません（使用料金が未入金の場合も入金していただきます）ので、ご了承ください。

お問い合わせ先

ポリテクセンター三重 TEL.059-320-2645
ポリテクセンター伊勢 TEL.0596-37-3121



求職者の職業訓練内容に関する ご案内

ポリテクセンター三重・伊勢では、再就職を目指す求職者の方々を対象に、機械系・電気系・居住系に関する公共職業訓練（標準6か月間〈一部4か月間・7か月間〉）を実施しております。各訓練科で技能・技術を身につけた修了生の採用をぜひご検討ください。

ポリテクセンターで実施している訓練の概要

機械系

テクニカルオペレーション科 機械・CAD科

機械製図、加工の知識をバランス良く習得

機械製図、2次元・3次元CAD、旋盤、NC旋盤、フライス盤、マシニングセンタ 等



溶接技術科 ★ ものづくり溶接科

鉄鋼材の加工および各種溶接技能・技術を習得

被覆アーケル溶接、炭酸ガスアーケル溶接、TIG溶接、金属加工 等



CAD/NC技術科 ★ (企業実習付コース)

設計と加工を習得し、企業の現場を学ぶ

機械製図、2次元CAD、旋盤、NC旋盤、フライス盤、マシニングセンタ 等



ものづくりサポート科 (4か月間のコース)

生産現場の基本的な業務を習得

機械CADを活用した設計補助及び総務・経理等のサポート業務



電気系

電気設備技術科 ★ (★は伊勢のみ)

電気設備全般について幅広く習得

電気基礎、電気工事、電気設備CAD、住宅配線、工場ラインの制御 等

P三重 P伊勢



電気保全技術科

制御技術に関する技能・技術を習得

工場設備、PLC・シーケンス制御、電気保全技術、制御盤作成 等

P三重



電気施工技術科 ★ (企業実習付コース)

電気工事の技能・技術を習得

一般住宅の電気工事、電気設備CAD、消防設備、ビルや工場の電気設備 等

P三重



居住系

住宅リフォーム技術科 ★

住宅の設計、施工管理の知識・技能を習得

木造住宅の施工、工事管理手法、建築法規、建築図面作成、積算・見積 等

P三重 P伊勢



★印のついているコースの一部には、ビジネススキル（社会人基礎講習）が含まれています。

コミュニケーション能力やビジネスマナーなどを習得し、標準6か月の職業訓練へ導くための、約3週間（15日間）の導入訓練



お問い合わせ先

ポリテクセンター三重

TEL.059-320-2645

FAX.059-322-2890

ポリテクセンター伊勢

TEL.0596-37-3121

FAX.0596-37-4914

訓練受講者及び訓練修了者への 求人について

ポリテクセンター三重・伊勢が実施している求職者の方を対象とした職業訓練（P60参照）を受講されている方の求職情報をご案内しています。
詳しくはホームページをご覧ください。

「求職者情報ニュース」、 「求職者情報一覧表」を活用した 指名求人の流れ

- 1 人材を採用したい
- 2 「求職者情報」をご覧いただき、貴社のニーズに合った人材をチェック
- 3 面接したい訓練受講者・修了者について、「求人紹介申込書」に記載の上、ハローワークから交付された「求人票（有効中）」と共にFAXにてお申込み
- 4 担当職員が訓練受講者・修了者に求人票を提示し、応募の可否を確認
- 5 貴社ご担当者様に連絡の上、ハローワークを通じて応募（紹介状発行）
- 6 面接実施

一般求人（公開）の流れ

- 1 人材を採用したい
- 2 ハローワークから交付された「求人票（有効中）」を作成していただき、FAXにてお申込み
- 3 ポリテクセンター内で公開
- 4 応募を希望する訓練受講者・修了者がいた場合、ハローワークを通じて貴社ご担当者に連絡の上、応募（紹介状発行）
- 5 面接実施

お問い合わせ先

ポリテクセンター三重
TEL.059-320-2645
FAX.059-322-2890

ポリテクセンター伊勢
TEL.0596-37-3121
FAX.0596-37-4914

企業実習生受け入れの お願いについて

ポリテクセンター三重では、施設内での訓練と企業実習を組み合わせた訓練コース（CAD／NC技術科・電気施工技術科）を設けており、訓練期間中に約1か月間の企業実習を組み入れています。企業実習生の受け入れをご検討いただける場合は、ご連絡下さい。

- 雇用のミスマッチの解消には企業実習が非常に有効です

- 企業実習先の企業と受講者が同意すれば、その企業に就職することも可能です

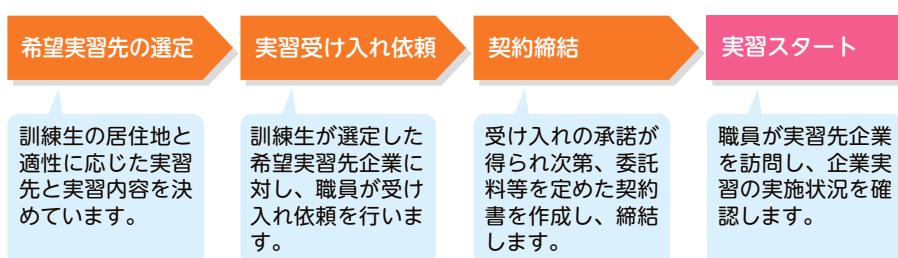
企業実習付訓練の概要



- ①社会人基礎講習…コミュニケーション能力やビジネスマナーなど、社会人としての基礎能力を身につける約3週間の訓練です。（ポリテクセンター三重）
- ②施設内訓練…約4か月間、ポリテクセンターのテクノインストラクター（職業訓練指導員）が専門機器等を活用して、ものづくりに必要な基礎的な知識・技能を習得します。
- ③企業実習…企業へ依頼し、実習の委託契約を結び、約1か月間の企業実習を行います。
- ④フォローアップ訓練…企業実習の後、再度ポリテクセンターにおいて約3週間、実習のまとめや振り返りを行います。

企業実習実施までの流れ

- 訓練生の要望を踏まえ、訓練生毎に実習先を選定しています。



委託費ほかについて

- 委託契約を締結していただき、これに基づき委託費をお支払いします。
- 企業実習生への賃金等の支払いは不要です。
- 企業実習生は、ポリテクセンターの負担により労働者災害補償保険制度に加入します。

2024年度対象科

CAD／NC技術科

2023年度就職実績 90.0%



9月開講

(企業実習は2月から実施)

電気施工技術科

2023年度就職実績 100%



6月、12月開講

(企業実習は11月・5月から実施)

その他のご案内

お問い合わせ先

ポリテクセンター三重
TEL.059-320-2645 FAX.059-322-2890



生産性向上支援訓練の ご案内

企業が生産性を向上させるために必要な知識などを習得する職業訓練です。
専門的知見を有する民間機関等と連携して、企業が抱える課題や人材育成ニーズに対応した訓練を実施します。



生産性向上支援訓練のポイント③

1. 企業の生産性向上に効果的な知識や技法を習得！

生産管理、組織マネジメント、マーケティング、データ活用など、あらゆる産業分野の生産性向上に効果的なカリキュラムを用意（全131コース）

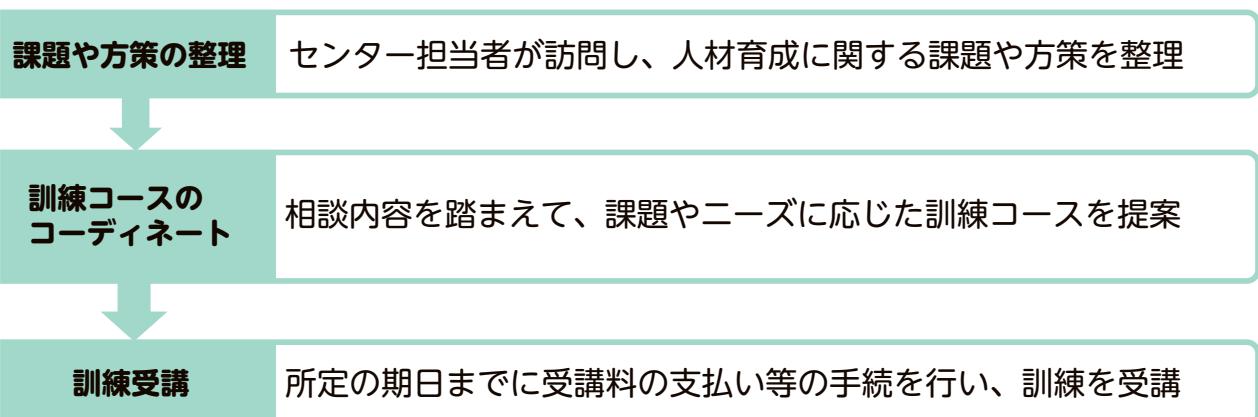
2. 企業のニーズに合わせたオーダーメイドのコース設定が可能！

- 自社会議室等を訓練会場とすることが可能（企業に講師を派遣します）
- 実施日時や訓練時間も調整可能（訓練時間は4～30時間で設定）

3. 受講しやすい料金設定！

- 受講料は1人あたり**2,200円～6,600円**（税込）
- 条件を満たす場合は国の助成金（人材開発支援助成金）を利用可能

訓練受講までの流れ



お問い合わせ先

生産性向上人材育成支援センター
ポリテクセンター三重
TEL.059-321-5495



生産性向上支援訓練

デジタル技術でビジネスモデルを変革する ～社内DX人材育成のためのコース

表計算ソフト × 業務効率化！

効率よく分析するための データ集計

データ集計の時短テクニックを習得！

効率よく大量のデータを分析するための表計算ソフトを活用したデータ集計手法を学びます。集計に役立つ関数やピボットテーブルなどの機能も学べます。

カリキュラム

- データ集約
- データ集計
- データ集計に役立つ機能



表計算ソフトのマクロによる 定型業務の自動化

マクロの基本を理解したい！

定型業務の自動化を実現するためのマクロの作成方法を学び、業務効率の向上につなげます。定型業務を効率化したい！定型業務の単純ミスをなくしたい！という課題を解決します。

カリキュラム

- マクロの基本知識
- 基本文法
- 制御文法



AI × 業務改善！

ITツールを活用した 業務改善

話題のITツールの活用法を知りたい！

ITツールの特徴と種類を理解し、自社業務への導入について目指すべき方向性や活用イメージを具体化していきます。

カリキュラム

- ITツールの種類と活用
- ITツールの業務適用



AI（人工知能）活用

AIを業務に活用する方法を知りたい！

AI（人工知能）の概要とビジネスの現場におけるAIの具体的な活用場面を理解し、AI活用について学びます。

カリキュラム

- AI（人工知能）の概要
- AIの活用事例と今後の展望



DX人材育成コースは全61コース！
その他のカリキュラムモデルはこちら



能力開発セミナー受講申し込み手続きのご案内

|1 お申し込み 三重のみE-mail申込み可

お手数ですがあらかじめお電話で定員の空き状況をご確認のうえ、申込書をFAX、郵送又は持参にてお申し込み下さい。申込書はこのパンフレットの最終ページにございます。申し込み締め切りは原則開講2週間前（その日が土日祝日・12/29～1/3である場合は直前の平日）です。ただし★マークのコースは3週間前が締め切り日です。

※申込書はホームページからもダウンロードが可能です。

お申し込み上の注意

締め切り後のお申し込みについてはお問い合わせ下さい。コース、定員の空き状況、教材準備の状況によっては、お申し込みいただける場合もございます。

キャンセル

- お申し込み後のキャンセルは、書面にてFAX・E-mail等でご連絡下さい。お申し込み時の受講申込書または任意の用紙に、ご氏名・キャンセルするコース名・コース番号を記入し、キャンセルの旨を書いてご提出ください。

- お申し込みコースの締め切り日を過ぎてのキャンセルは受講料を返金できません（教材準備のため）。また、このとき受講料が未納の場合は納付していただきます。

なお、ご希望の方にはテキストをお渡しいたします。

※同じ内容の別日程のコースへの変更を希望される場合も、キャンセル扱いとなります。

詳しくは「よくあるご質問」P44をご覧ください。

|2 受講料の振り込み等

セミナー開講日の1か月半～1か月前に、「請求書」・「郵便局払取扱票」・「受講票」をお送りいたします。原則として開講日の1週間前までに、お振り込み下さい。

お振り込み上の注意

お振り込みは、当センター指定の方法でお願いします。受講料は税込みです。振込手数料はお客様負担となります。

コースの中止

- 定員に満たない場合や、その他悪天候等やむを得ない理由により、日程変更または中止とさせていただくことがあります。中止となった場合は、ご連絡の後、受講料を返却いたします。

|3 受講当日

- 「受講票」とコース内容にある「持参品」を持参して下さい。
- 施設案内図をご参照のうえ、開講時刻までにお集まり下さい。
- 当日発熱症状がある方は受講をお断りすることがございます。



アンケートへのご協力依頼

セミナー最終日に「受講者アンケート」にご協力ください。（受講者様）。セミナー終了後に「事業主アンケート」を郵送にてご依頼します。アンケートにご協力ください（事業主様）。

|4 修了

受講修了者には「修了証書」を発行します。



修了要件

12時間以上出席かつ訓練時間の80%以上の出席が必要です。

受付

2025年度 能力開発セミナー受講申込書

◎受講申し込み施設に○印をつけて下さい。

年月日

	ポリテクセンター三重	FAX : 059-322-2890 E-mail : mie-poly02@jeed.go.jp
	ポリテクセンター伊勢	FAX : 0596-37-4914

1 次のセミナーについて、訓練内容と受講要件(ある場合のみ)を確認の上、申し込みます。

コース番号	コース名	ふりがな	性別 (該当に☑)	生年月日 (西暦)	訓練に関連する経験・技能等 ※1)
日程		氏名			受講者の就業状況(該当に☑)※2)
			<input type="checkbox"/> 男	年	※1
			<input type="checkbox"/> 女	月 日	<input type="checkbox"/> 正社員 <input type="checkbox"/> 非正規雇用 <input type="checkbox"/> その他(自営業等)
			<input type="checkbox"/> 男	年	※1
			<input type="checkbox"/> 女	月 日	<input type="checkbox"/> 正社員 <input type="checkbox"/> 非正規雇用 <input type="checkbox"/> その他(自営業等)
			<input type="checkbox"/> 男	年	※1
			<input type="checkbox"/> 女	月 日	<input type="checkbox"/> 正社員 <input type="checkbox"/> 非正規雇用 <input type="checkbox"/> その他(自営業等)

◎修了証発行の際に生年月日が必要となりますので、必ずご記入いただくようお願いいたします。

◎受講者の変更・キャンセルは書面にてコース開講日の2週間前までに連絡をお願いいたします(☆マークのコースは3週間前)。なお、お申し込みコースの締め切り日(その日が土日祝日・12/29~1/3にあたる場合は直前の平日)を過ぎてのキャンセルは受講料を返却できませんのでご了承ください。

◎定員に満たない場合やその他、悪天候等やむを得ない理由により、変更または中止させていただくことがあります。

※1)訓練を進める上での参考とさせていただくため、今回受講するコース内容に関連した職務経験、資格、教育訓練受講歴等をお持ちの方は、差し支えない範囲でご記入下さい。(例:切削加工の作業に約5年)

※2)就業状況の非正規雇用とは、一般的にパート、アルバイト、契約社員などが該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。

2 申込者記入欄(個人で申し込まれる方は*欄のみご記入ください。)

法人番号(13桁)	* 法人番号が無い場合は以下の該当に☑を入れて下さい。			
法人名	<input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> 個人事業主 <input type="checkbox"/> 個人			
勤務先	ふりがな	* 連絡先	電話	
	事業所名		—	
	* 所在地 (個人は住所)	〒 —	業種 (※注釈)	業種コード (アルファベット)
* 申込担当者名 (受講票/請求書 等送付先)	部	* 該 當 に 講 區 分 —	課	<input type="checkbox"/> 会社からのお申込み
	役職			
	ふりがな			<input type="checkbox"/> 個人によるお申込み
企業規模(該当に☑)	<input type="checkbox"/> 1~29人 <input type="checkbox"/> 30~99人 <input type="checkbox"/> 100~299人 <input type="checkbox"/> 300~499人 <input type="checkbox"/> 500~999人 <input type="checkbox"/> 1000人以上			
当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等のご案内の希望(該当に☑)	<input type="checkbox"/> 希望する		<input type="checkbox"/> 希望しない	

◎受講者が会社からの指示によって参加される場合には、受講者が所属する事業所の代表者の方(事業主、営業所長、工場長等)にアンケート調査へのご協力ををお願いしております。

(注)訓練内容等のご不明な点、あるいは安全面・健康上においてご不安な点などございましたら、あらかじめご相談下さい。

※当機構の保有個人情報保護法方針、利用目的

○(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。

○ご記入いただいた個人情報については能力開発セミナーの受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備)及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。

※注釈(業種は以下の20種から選んでください。)

- A・農業、林業 B・漁業 C・鉱業、採石業、砂利採取業 D・建設業 E・製造業 F・電気、ガス、熱供給、水道業
 G・情報通信業 H・運輸業、郵便業 I・卸売業、小売業 J・金融業、保険業 K・不動産業、物品貿易業
 L・学術研究、専門・技術サービス業 M・宿泊業、飲食サービス業 N・生活関連サービス業、娯楽業 O・教育、学習支援業
 P・医療、福祉 Q・複合サービス事業 R・サービス業 S・公務 T・分類不能の産業

問合せ先(ポリテク三重受講者係) 059-320-2645/(ポリテク伊勢) 0596-37-3121

2025冊子

案内図



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構三重支部
三重職業能力開発促進センター
ポリテクセンター三重

〒510-0943
三重県四日市市西日野町4691
TEL.059-320-2645
FAX.059-322-2890

○交通機関

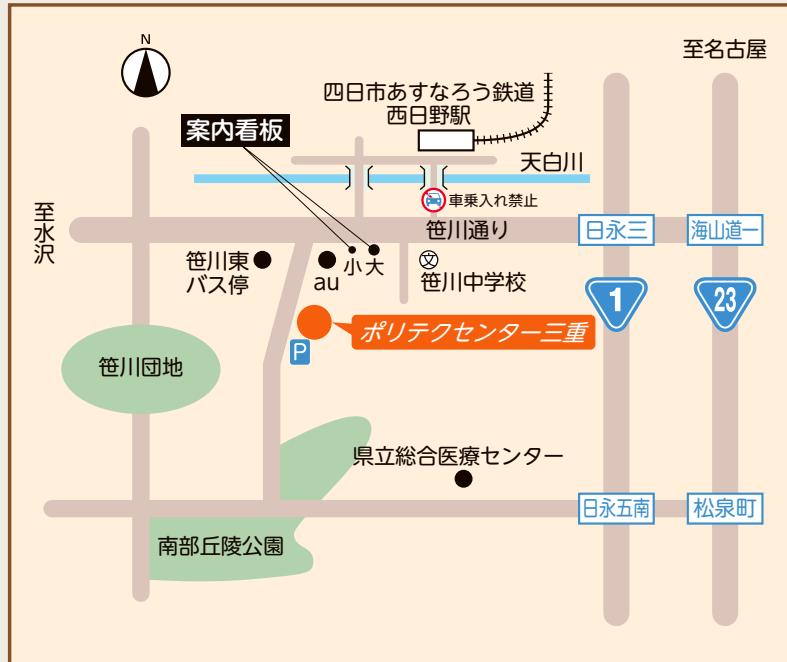
- ・四日市あすなろう鉄道／
八王子線「西日野駅」から徒歩10分
- ・三交バス／系統No.41
(近鉄四日市駅発 笹川ジャブ行、又は
笹川テニス場行)「笹川東」下車、徒歩5分

※自動車で来所の方は南門から入った
受講者駐車場をご利用ください。
・無料駐車場（約200台）あり



ポリテクセンター三重

検索



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構三重支部
三重職業能力開発促進センター伊勢訓練センター
ポリテクセンター伊勢

〒519-0501
三重県伊勢市小俣町明野685
TEL.0596-37-3121
FAX.0596-37-4914

○交通機関

- ・近鉄「明野駅」から徒歩10分

※自動車で来所の方は南門から入った
セミナー受講者用駐車場をご利用く
ださい。

- ・無料駐車場（23台）あり



ポリテクセンター伊勢

検索



この印刷物は環境に配慮し
管理された用紙・植物油インクを使用しています。